



令和 7 年度 事業報告



日本赤十字社 長野県支部
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社 長期ビジョン

赤十字この1年

- 01 災害救護
- 02 国際活動
- 03 赤十字ボランティア
- 04 青少年赤十字
- 05 救急法などの講習
- 06 医療事業
- 07 看護師養成
- 08 血液事業
- 09 社会福祉事業
- 10 活動資金の募集
- 11 企業・団体とのパートナーシップ
- 12 広報活動
- 13 事業実施体制の構築
- 14 一般会計及び特別会計歳入歳出決算

資料編

スライド番号

3

4

5

15

19

25

29

33

35

37

39

41

51

55

61

65

80



社会課題

災害や紛争から人々が
守られる社会づくり

人々の健康・福祉を
支える地域づくり

互いを思いやり、助け合い、
尊重し合う社会づくり

目指す姿

**国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字**

行動指針

- 被支援者の側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底

- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長期戦略

－ 事業戦略 －

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

－ 運動基盤強化戦略 －

会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

赤十字この1年

令和7年度

<https://www.youtube.com/watch?v=xHKVs7ucQAg>



01

災害救護

令和7年度は、関係機関と連携した救護班要員等の訓練や研修、救護資機材の整備により、救護対応能力を向上することをめざし、日赤災害医療コーディネーター任命式や県内保健福祉事務所との実働訓練、無線機等の整備を行いました。また、防災・減災への取組では、地域における防災・減災に対する知識・意識の更なる向上を目的として、赤十字防災セミナーの指導に当たるボランティア指導者を新たに9名養成するとともに、地元放送局と連携した啓発活動を行いました。

(1) 災害対策本部体制・機能の強化

関係機関との連携の下、災害対策本部要員と日赤災害医療コーディネートチームが円滑な救護活動が展開できるよう、本部運営に必要な知識の習得に係る訓練・研修を実施しました。

ア 日赤災害医療コーディネーター任命式

任命者の意欲向上の一環として任命式を執り行うとともに、災害対策本部の支援や関係機関との調整などの役割について、統括コーディネーターによる講演を行いました。

実施日	場 所
令和7年9月17日	日本赤十字社長野県支部



任命書を受け取る新任コーディネーター

イ 長野県保健医療福祉調整本部訓練への参加

災害時における県調整本部と日赤の体制や活動内容等に関する相互理解を深めるため、オブザーバーとして参加しました。

実施日	場 所
令和7年9月16日	長野県保健福祉事務所

(2) 赤十字施設及び関係機関との実働訓練

県内外の支部・施設と合同訓練を実施し、赤十字の災害対応力の向上を図ったほか、長野県及び市町村が主催する訓練に参加し、関係機関との連携強化に努めました。

ア 県内外の赤十字支部・施設との合同訓練

訓練名	実施日	主会場	参加人数等
第3ブロック支部 合同災害救護訓練	10月11日	福井県支部 福井赤十字病院 福井県赤十字血液センター	10人 長野赤十字病院救護班 1 班 7 人 支部職員 3 人
長野県支部 合同災害救護訓練 ※飯山市主催の訓練と 連携して実施	9月28日	長野県支部 飯山赤十字病院	約240人 県内赤十字施設 北信保健福祉事務所 岳北消防本部 北信総合病院DMAT 飯山市赤十字奉仕団 赤十字ボランティア

イ 長野県及び市町村主催の訓練参加

訓練名	実施日	主会場	参加人数等
長野県総合防災訓練	10月19日	岡谷湖畔公園	10人 日赤災害医療Co 1 人 日赤災害医療CoS 1 人 諏訪赤十字病院救護班 1 班 7 人 支部職員 1 人

長野県支部合同災害救護訓練



救命困難な状況を想定した傷病者に対応する医療救護班



押し寄せる多数傷病者を受け入れる病院職員



北信保健福祉事務所や北信総合病院DMATと本部を運営する
日赤災害医療コーディネーターチーム



医療救護所に傷病者を搬送する赤十字ボランティア

(3) 医療救護班・こころのケアチームの育成

医療救護班やこころのケアチームに求められる使命や役割について理解を深めるため、各活動内容に応じた研修を実施しました。

また、各施設の医師・看護師等の指導力向上を図るなど、救護活動の中核を担う人材の育成に取り組みました。

研修名	実施日	場所	参加者 (人)	指導スタッフ (人)
医療救護班研修	6月7日	長野県支部	39	18
こころのケア研修	6月12日	長野県支部	17	12
	6月28日	諏訪赤十字病院	20	16
救護員としての 赤十字看護師研修	7月29日～31日	長野赤十字病院	16	10
	9月8日～10日	諏訪赤十字病院	25	9
	11月13日～15日	長野赤十字病院	25	10
救護員としての赤十字 看護師フォローアップ研修	12月5日～6日	諏訪赤十字病院	10	10
日赤災害医療 コーディネート研修	8月30日～31日	本社	1	2
	11月1日～2日	本社	2	2
第3ブロック 赤十字救護班研修	9月13日	日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院	3	12
こころのケア 指導者養成研修	10月22日～23日	本社	1	-
	11月23日～24日	本社	1	-



災害救護に関する知識や技術を学ぶ県内赤十字病院の医療救護班要員
(医療救護班研修)



被災者に寄り添ったケアについて演習により理解を深める受講者
(こころのケア研修)

(4) 救護資機材等の整備等

能登半島地震の救護活動を踏まえ、救護資機材の更新・整備を行うとともに、救援物資の備蓄計画の見直しについて、引き続き、検討を進めます。

ア 組立トランク型自動ラップ式トイレ 12台（赤十字病院 各2）

イ 車載型業務用無線機 6台（赤十字病院 各1）

ウ 災害救護用車両 1台（飯田市地区）

エ 災害対策本部要員用パソコン 5台（支部事務局）

オ 救援物資の備蓄計画の見直し

地域の実情を踏まえつつ、関係機関と連携し、倉庫の集約など備蓄適正化に向けた検討を進めています。



車載用業務無線機



組立トランク型
自動ラップ式トイレ



救援物資の備蓄倉庫（松本平広域公園）

(5) 防災・減災への取組

地域の防災・減災力の向上に資する「赤十字防災セミナー」を各地で開催したほか、ボランティア指導者の育成に取り組みました。

ア 赤十字防災セミナーの実施

県内各地域で90回開催し、3,385人の方が参加しました。

イ 防災教育事業指導者養成研修の実施

ボランティア8人、支部職員1人の計9人を新たに養成し、当支部在籍の指導者は38人になりました。



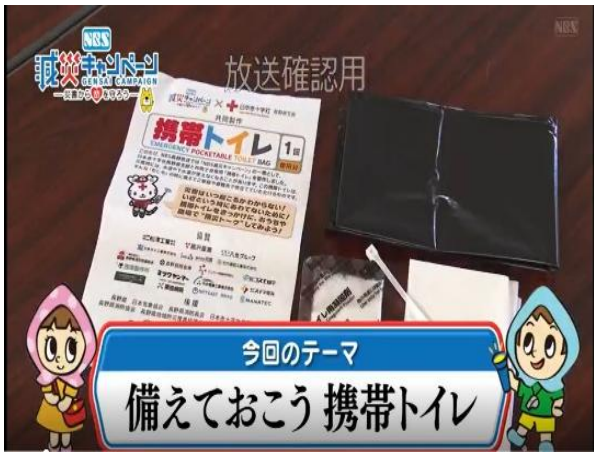
地域住民を対象とした赤十字防災セミナー（千曲市）



効果的な教材の活用方法を学ぶ新任指導者

ウ 地元テレビ局と連携した防災減災の普及活動

長野放送が県内企業から募った協賛金を活用し、携帯トイレを2,400セット作成。松代中学校3年生を対象に開催した赤十字防災セミナー参加者に配布しました。また、テレビ番組「減災家族」の放送を通じて、県民に広く減災意識の啓発を行いました。



番組内で放映された長野県支部オリジナル携帯トイレ

(6) 臨時救護活動の実施

県内各地の体育大会等の行事に、医師・看護師等を派遣し、救護活動を実施しました。

派遣延日数（日）	派遣救護員（人）			
	医師	看護師	主事等	合計
10	0	13	2	15

(7) 災害等被災者への支援

国内で発生した災害の被災者に対し、生活を支えるための義援金を受け付けました。

この義援金は、被災地の義援金配分委員会を通じ、全額が被災者に届けられます。

【義援金の受付状況】

区 分	災害発生年月	件数 (件)	金額 (円)
令和 6 年能登半島地震災害義援金	令和 6 年 1 月	531	11,052,616
令和 6 年 9 月能登半島大雨災害義援金	9 月	383	2,409,645
令和 7 年大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和 7 年 3 月	106	1,458,897
令和 7 年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	7 月	65	228,270
令和 7 年台風第 8 号に伴う災害義援金	8 月	58	323,733
令和 7 年 8 月 6 日から的大雨災害義援金	8 月	87	490,683
令和 7 年台風第12号災害義援金	9 月	49	173,927
令和 7 年台風第15号災害静岡県義援金	9 月	42	372,913
令和 7 年台風第 22 号及び第 23 号災害義援金	10 月	42	223,638
令和 7 年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	11 月	57	508,448
令和 7 年青森県東方沖地震義援金	12 月	17	79,384
合 計		1,437	17,322,154

02

国際活動

日本赤十字社は、世界191の国と地域に広がる国際赤十字・赤新月運動の一員として、紛争や災害等の国際救援活動を継続して支援しています。

令和7年度は、長野県支部を含む第3ブロックの8県支部（北陸・東海・長野）合同で、海外諸国の開発協力支援や将来の国際活動を担う国際救援・開発協力要員の人材育成を行いました。

また、世界各地で発生する人道危機などの緊急事態に際し、地区分区等のご協力をいただき、現地での救援活動や復興支援活動を支援するための海外救援金の募集を行いました。

(1) 国際救援事業への参加

日本赤十字社第3ブロック支部合同による国際救援事業に参加しました。

ア レバノン プライマリーヘルス・スケールアップ事業及び医療技術支援事業

2011年にシリア紛争が始まって以降、レバノンでは、現在も150万人以上の難民が劣悪な環境での避難生活を余儀なくされています。さらに急性および慢性疾患に苦しむ避難民の多くが、必要な治療を受けることができない困難に直面しています。レバノン国内の医療施設に治療に欠かせない医薬品や医療衣の提供を行うとともに、避難所に食料や日用品等を届け、避難民の支援に取り組みました。



医療技術支援に感謝する診療所の看護師長
(レバノン)

イ アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業

洪水やサイクロンなどの自然災害が発生しているアジア・大洋州地域において、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。災害への緊急即応体制整備の一環として、「給水・衛生災害対応キット」の配備に取り組むとともに、現地の赤十字社スタッフやボランティアを対象に、資機材を活用できる人材育成を支援しました。



水を処理する実習に取り組む研修参加者
(アジア・大洋州)

ウ 南部アフリカ地域 感染症対策事業

南部アフリカ地域は、HIVをはじめとする感染症の脅威や気候変動の影響によりさまざまな課題を抱えています。エイズ孤児や貧困層世帯などが心身ともに健康な生活を享受できるよう、HIVの感染症予防対策、衛生状態の改善、生計支援、教育支援など幅広い支援に取り組みました。



感染症対策について子どもが学ぶ
地域のコミュニティー
(南部アフリカ地域)

(2) 国際赤十字への支援

世界各地で発生する人道危機などの緊急事態に際し、海外救援金の受付やNHK海外たすけあいキャンペーンを実施しました。



幼稚園児とNHK海外たすけあいキャンペーンのイベントを実施

【海外救援金の受付状況】

区 分	件数 (件)	金額 (円)
中東人道危機救援金	29	145,669
バングラデシュ南部避難民救援金	34	26,889
2025年ミャンマー地震救援金	52	347,799
ウクライナ人道危機救援金	156	1,067,787
2025年アフガニスタン地震救援金	30	132,949
2025年パキスタン洪水救援金	22	120,889
イラン及び周辺国人道危機救援金	2	17,311
地域無指定の救援金	8	119,503
NHK海外たすけあい	1,617	2,568,323
合 計	1,950	4,547,119

03

赤十字 ボランティア

赤十字ボランティアは、赤十字の使命である人道を実践しようとする人々によって結成された組織です。

令和7年度は、ボランティア活動の活性化を図るため、特色ある取組を行う奉仕団に対し、効果的な助成となるよう制度の見直しを行いました。

また、奉仕団がより主体的に活動できるよう研修会を充実させるとともに、若年層ボランティアの育成、奉仕団同士の交流の促進に取り組みました。

（１）特色ある地域奉仕団活動の支援

地域の実情やニーズに応じた特色ある活動を促進する助成制度を創設し、奉仕団活動の活性化を図りました。

① 地域赤十字奉仕団活動特別補助金

地区分区における奉仕団活動のより一層の充実を図るため、交付する補助金

■ 交付実績：44地区分区、計11,723,100円

② 地域赤十字奉仕団指定活動助成金（令和7年度から助成）

地区分区における奉仕団活動の拡充を図るため、次の事業に対し、1つの事業につき5万円を限度に交付する助成金

（ア）奉仕団員の増強を推進する取組であること。

（イ）他団体等と連携・協力して実施する取組であること。

（ウ）新たな奉仕団活動の創出を進める取組であること。

■ 交付実績：30地区分区、計 2,550,000円

■ 他団体と連携・協力して実施した取組



「赤十字防災セミナー（防災教育）」×「子ども食堂（カレー大作戦）」（朝日村）



「きけんはっけん（防災教育）」×「保育園の避難訓練」（茅野市）

(2) 若年層ボランティアの育成

青年奉仕団が長野市主催のプロジェクトに参加し、高校生の有志とともにクリスマスプレゼントを作製して、県内赤十字病院の小児科に入院する子どもたちや乳児院の入所児等と交流しました。

また、岡学園トータルデザインアカデミーの学生による新たな視点や発想を取り入れた赤十字活動をPRする取組など、学生や専門学校と連携した活動を行いました。



岡学園トータルデザインアカデミー 長野プロデュース科の作品

(3) 主体的な奉仕団活動の促進

豊富な知識と経験を有する指導講師が中心となって、各地域の奉仕団委員長等を対象にした幹部研修会を開催しました。本研修では、奉仕団活動に必要な知識の習得や活動事例を共有するとともに、コミュニケーションの大切さを体験するグループワークを通じ、奉仕団の主体性の向上と地域を越えた奉仕団同士の交流を図りました。

また、奉仕団員が災害に強いまちづくりの推進に貢献するとともに、防災啓発活動を牽引する人材を育成するため、災害時における炊き出しなど実践的な演習を取り入れた研修会を開催しました。



「ドローイング」を体験する奉仕団員



「きけんはっけん」を参加者に実演する奉仕団員

■ 開催状況

<地域奉仕団幹部研修会>

開催日	会 場	参加者数（人）
6月19日	日本赤十字社長野県支部 会議室	39
6月26日	佐久穂町生涯学習館 花の郷・茂来館	28
7月 2日	大町市文化会館 サン・アルプス大町	28
7月 4日	茅野市役所 8階 大ホール	28
7月10日	伊那市役所 1階 多目的ホール	45
7月11日	飯田文化会館	72
	合 計（6会場）	240

<防災啓発研修会>

開催日	会 場	参加者数（人）
7月25日	日本赤十字社長野県支部 会議室	39

04

青少年赤十字

将来を担う青少年の豊かな心を育むとともに、青少年赤十字メンバーが相互に活動を共有できる機会を確保しました。

社会環境や教育現場の変化に合わせた学びの機会を提供し、自ら「気づき、考え、実行する」子どもたちの育成に取り組みました。

(1) 青少年赤十字活動の活性化

青少年赤十字活動の活性化を図るため、青少年赤十字メンバーの交流を実施しました。

伊那市では、西春近北小学校と西春近南小学校の赤十字メンバーと一緒に救急法講習を受講しました。この取組は、学校の安心・安全にも役立つものとなりました。



初の合同開催となった救急法講習（伊那市）

【青少年赤十字加盟校数】令和8年3月末現在

区分	加盟校数（校）
小学校	71
中学校	78
高等学校	69
特別支援学校	2
合計	220

■ 新規加盟校（9校）

長野市立信里小学校
長野市立柳原小学校
長野市立櫻ヶ岡中学校
筑北村立聖南中学校
塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校
伊那市立西春近北小学校
伊那市立西春近南小学校
伊那市立高遠小学校
伊那市立高遠中学校

(2) 長野県教育委員会等との連携

長野県教育委員会及び青少年赤十字指導者協議会等と連携し、青少年赤十字研究推進校及び加盟校との協働による取組を推進しました。

指定年度	学校名	研究内容
令和6・7年度	飯田市立鼎中学校	生徒が主体的に「気づき 考え 実行する」姿の実現を目指して ～「鼎中ボランティアステーション」活動を通じて～
令和7・8年度	山ノ内町立東小学校	「つながり（ひと・もの・こと）」を尊重し、自分らしいやり方で 地域社会に参画しようとする児童の育成



飯田市立鼎中学校



山ノ内町立東小学校

(3) 青少年赤十字指導者の養成

本社及び青少年赤十字賛助奉仕団と協力し、教育現場で活動する指導者の養成に努めました。

(4) 青少年赤十字プログラムの活用

「まもるいのち ひろめるぼうさい」等の教材を活用した防災教育を各校で実施し、児童・生徒及び教職員への防災・減災意識の普及に努めました。



中学校における防災教育

■ 主な事業の実施状況

内容	実施日	場所
青少年赤十字指導者協議会総会	5月28日	長野県支部
第3ブロック支部青少年指導者協議会長研究会	6月20日	Web
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	7月4日	本社
青少年赤十字研究推進校発表会	11月14日	飯田市立鼎中学校
青少年赤十字指導者協議会役員会	12月23日	Web
青少年赤十字指導者協議会研修会	2月27日	Web

05

救急法などの 講習

赤十字の各種講習は、基本理念の「人道」に掲げる“人間の苦痛を予防し軽減すること”に努める活動です。

県民の皆さまに健康で安全な毎日を送っていただけるよう、長野県支部では4つの講習（救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法）の普及に努めるとともに、講習指導の質を高める指導員研修や講習を効果的に実施するための講習資機材の整備に取り組みました。

(1) 応急手当や事故防止等の知識・技術の普及

より多くの皆さまが健康と安全に役立つ知識と技術が習得できるよう、地区分区やボランティア等のご協力のもと、県内各地で講習会を開催しました。

【各種講習会の開催状況】

講習区分		資格者の養成			短期講習		計	
		実施 (回)	受講者数 (人)	養成者数 (人)	実施 (回)	受講者数 (人)	実施 (回)	受講者数 (人)
救急法	基礎講習	48	935	921	505	10,591	585	12,196
	救急員養成	32	670	661				
水上安全法	I	1	6	5	0	0	2	8
	II	1	2	2				
健康生活支援講習		6	53	50	31	561	37	614
うち 災害時高齢者生活支援		—	—	—	25	449	25	449
幼児安全法		6	82	81	55	1,030	61	1,112
合 計		94	1,748	1,720	591	12,182	685	13,930

（２）指導体制の強化及び指導技術の向上

指導体制の強化を図るため、幼児安全法指導員養成講習会及び救急法資格継続適性審査を開催し、指導技術の向上に努めました。

（ア）幼児安全法指導員の養成

開催日	場所	養成者（人）
12月1日・2日・8日・9日・10日	長野県支部	9

（イ）救急法指導員資格継続適性審査の実施

実施日	場所	合格者（人）
2月14日	長野県支部	17
2月18日	安曇野赤十字病院	5
2月20日	長野県支部	8
2月25日	諏訪赤十字病院	10
2月26日	下伊那赤十字病院	8

(ウ) 各講習指導員研修会の開催

講習区分	開催方法	開催日
救急法、水上安全法、幼児安全法	Web視聴	令和8年2月28日～
健康生活支援講習	参集	2月11日

(3) 講習資機材の更新

今後導入が予定される新たな心肺蘇生ガイドライン（G2025）に対応した講習普及を進めるため、「オートショックAED」トレーナーや講習人形を整備しました。

- ア AED訓練用トレーナー 15台
- イ 講習人形（成人タイプ） 32体
- ウ 講習人形（幼児タイプ） 2体



講習人形（成人タイプ）



AED訓練用トレーナー

06

医療事業

日本最大級の病院グループとしての役割を果たしつつ、更なる医療の質向上をめざしました。経営面では、全職員の意識改革と業務の合理化・効率化を推進し、安定した医療提供体制を維持しました。

また、病院祭や出前講座等の実施を通じて地域住民の皆様との信頼関係を深め、地域医療の拠点としての機能を発揮できるよう努めました。

〔長野赤十字病院〕 〔諏訪赤十字病院〕 〔安曇野赤十字病院〕

〔飯山赤十字病院〕 〔下伊那赤十字病院〕 〔川西赤十字病院〕

（１）安心・安全な医療の提供

医療安全・感染対策の徹底と高度先進医療の推進により、地域へ安心・安全な医療を提供しました。また、医師等の働き方改革に注力し、質の高い医療と持続可能な職場環境の構築を推進しました。

（２）経営の安定化

経費削減と業務効率化を徹底し、経営基盤の強化に努めました。安定した運営体制を確立することで、病院機能の維持と地域医療の発展に貢献しました。

（３）地域交流の促進

出前講座や病院祭を積極的に開催し、地域住民の皆様との交流を深めました。これらの活動を通じ、地域から選ばれる信頼される病院づくりを推進しました。



病院祭の救護体験ブースの様子
（下伊那赤十字病院）

07

看護師養成

赤十字の基本原則に基づく看護を実践し、人道を具現化できるとともに、赤十字の各事業の連携の輪をつなぐ役割の一役を担い、事業の推進役となる看護師の育成に努めました。

〔諏訪赤十字看護専門学校〕

(1) 地域医療に貢献する看護師の養成

諏訪赤十字看護専門学校では、赤十字の理念に基づいた質の高い看護教育を実践しました。地域医療を支える、高い実践力と人間性を備えた看護師を育成・輩出しました。（看護師国家試験合格率9年連続100%）

【諏訪赤十字看護専門学校の在校生】 令和8年3月現在

1 学年	2 学年	3 学年	合計（人）
31	34	26	91



戴帽式

(2) 高度な知識と技術を身に着けた看護師の養成

日本赤十字豊田看護大学と連携し、高度な知識と技術を備えた看護師育成と専門性及び質の高い人材輩出を図りました。

【長野県支部長推薦制度により入学した在学生数】 令和8年3月現在

1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	合計（人）
0	2	1	5	8

08

血液事業

少子高齢化による献血可能人口の減少を見据え、若年層の献血者確保に努めました。安定的・効率的な血液供給体制の維持を図るため、SNS活用や「ラブラッド」会員の加入促進を強化しました。

〔長野県赤十字血液センター〕

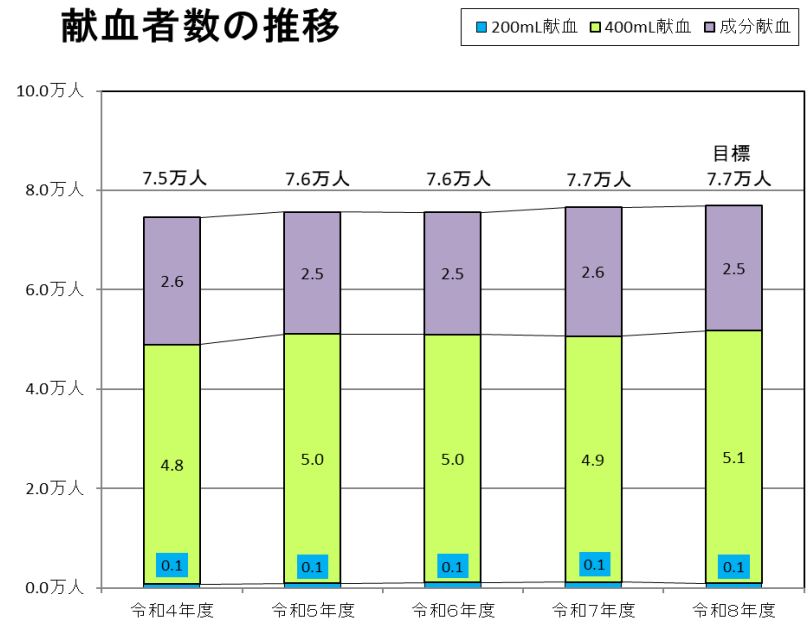
(1) 献血事業の推進

効率的な献血者確保と安定的な血液供給体制の維持を図るため、SNS等を活用した広報活動を強化しました。

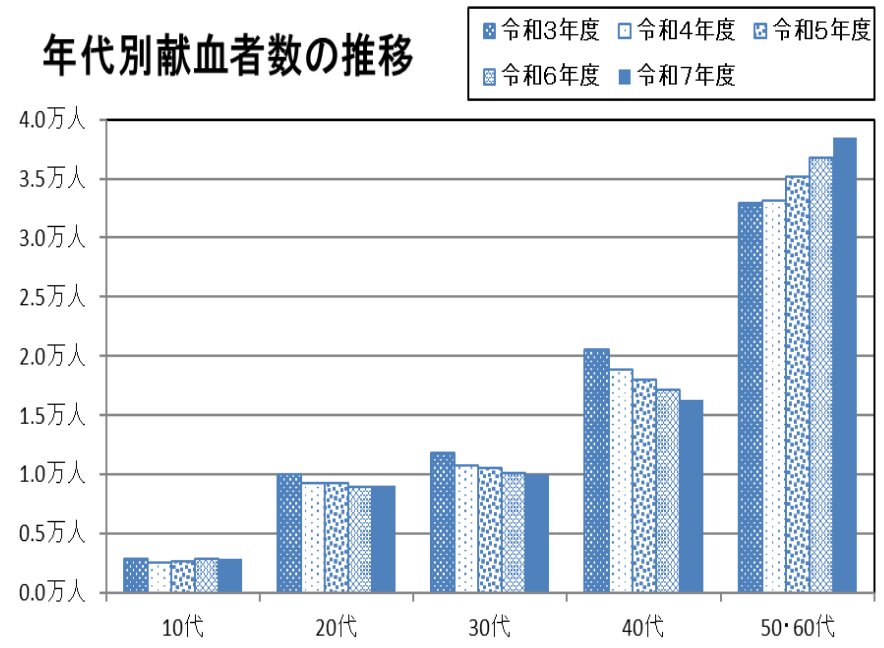
(2) 献血者数の確保と計画

需要に応じた献血者確保に加え、若年層（10代～30代）の協力率向上に努めました。また、Webを活用した献血予約（ラブラッド）の普及と予約率の着実な向上を図り、医療現場への安定的かつ効率的な血液供給体制を維持しました。

献血者数の推移



年代別献血者数の推移



09

社会福祉事業

家庭での養育が困難な乳幼児の保護・養育を担うとともに、関係機関と連携し、地域の子育て支援体制の充実に努めました。

また、育児相談や親子交流、里親支援事業等を推進し、地域福祉の拠点としての役割を果たしました。

〔松本赤十字乳児院〕 〔里親支援センターひまわり〕

(1) 児童福祉の推進

松本赤十字乳児院では、家庭的な養育環境のもと、個々の特性に応じたケア体制の充実と、児童の健やかな成長支援に努めました。また、育児相談や親子交流会などの子育て支援事業に取り組みました。



家庭的な養育環境（少人数グループケア）

(2) 里親養育事業の推進

里親支援センター「ひまわり」を拠点に、児童が家庭と同じように安心して健やかな生活を送れるよう、里親制度の普及啓発に努めました。児童相談所や自治体と緊密に連携し、子どもたちの未来の暮らしを支えるための養育支援体制の充実を図りました。

10

活動資金の募集

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動は、県民の皆さまからお寄せいただく活動資金が財源であり、その募集は、地区分区をはじめ、各地域の自治会・町内会や協賛委員、奉仕団員の協力によって支えられています。

活動資金の募集に当たって、戸別訪問を基本に赤十字活動をご理解いただけるよう広報チラシを作製・配布するとともに、利便性の高い口座振替やクレジットカード決済による募集を実施したほか、ダイレクトメールの送付や法人訪問による協力依頼を行いました。

総額314,507,021円のご寄付をいただきました。

(1) 地区分区事務局との連携

支部と地区分区の円滑な連携と意思疎通を図るとともに、双方が一体となって活動資金の確保に取り組むため、日赤事務新任担当者向けの研修を実施したほか、地区分区主催の募集会議への出席、地区分区の担当課長及び担当者との会議を開催、地区分区へ訪問に加え、地区分区における活動資金募集の現状調査にかかる報告会など、各地域の実情や課題など状況把握と共有に努めました。

また、新たな取組として、支部災害合同救護訓練において奉仕団役員及び担当者の視察見学や、法人訪問を地区担当者と支部職員共同で行うなど、赤十字事業の振興に向けて連携を図りました。

区分	開催日	会場	参加人数(人)
地区分区新任担当者研修	4月10日	WEB形態	43
支部合同救護訓練視察見学	9月28日	飯山赤十字病院	9
活動資金募集の現状調査にかかる報告会	11月13日	WEB形態	41
地区分区担当課長会議	12月16日	WEB形態	58
地区分区事務担当者会議	2月中旬～3月上旬にかけて	県支部ほか5会場	72

(2) 支援者の拡大と活動資金の確保

地域の戸別訪問を中心とした募集活動は、高齢化の進展や地域コミュニティの変容等により、年々厳しさを増しています。これに対応するため、本社が持つデータ等を有効活用し、ダイレクトメールの発送や、遺贈・相続財産寄付に関心のある方へのアプローチなど、赤十字活動の周知拡大と活動資金の募集強化に戦略的に取り組みました。

遺贈等の広告（全国紙・総合月刊誌）

【ダイレクトメール依頼による応諾状況】

応諾状況	個人	法人	合計
協力者数	197人	264社・団体	461
総 額	3,476,600円	10,288,000円	13,764,600円

【令和 7 年度活動資金募集実績額】	
地区分区 (市町村受付分)	223,265,371円
(内訳)	市地区 171,258,936円
	町村分区 52,006,435円
支 部 (口座振替等含む)	35,935,809円
小 計①	259,201,180円
施 設②	54,776,071円
指定事業海外救援金③	529,770円
計 (①+②+③)	314,507,021円

地区分区別の活動資金募集実績額

(単位：円)

地区分区名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
長野市	54,006,000	42,243,550	40,624,550	605,000	1,014,000		43,378,898
松本市	35,816,000	21,213,645	20,262,645	334,000	537,000	80,000	21,902,119
上田市	21,344,000	10,223,865	9,813,865	87,000	186,000	137,000	11,408,349
岡谷市	6,345,000	5,924,284	5,733,284	7,000	27,000	157,000	6,142,668
飯田市	12,595,000	13,362,801	13,233,801	45,000	84,000		13,735,705
諏訪市	7,215,000	7,145,548	5,833,548	93,000	183,000	1,036,000	7,211,571
須坂市	6,355,000	4,628,342	4,459,342	50,000	106,000	13,000	4,764,757
小諸市	5,688,000	5,203,297	5,149,297	18,000	36,000	0	5,488,473
伊那市	9,085,000	7,089,742	6,721,742	53,000	131,000	184,000	7,280,334
駒ヶ根市	4,456,000	3,304,350	2,949,350	30,000	54,000	271,000	3,263,822
中野市	5,694,000	5,724,081	5,665,081	35,000	24,000	0	5,758,303
大町市	3,412,000	2,809,950	2,685,950	114,000	10,000	0	3,068,250
飯山市	2,276,000	1,901,938	1,901,938	0	0	0	1,963,052
茅野市	8,076,000	4,501,092	4,388,092	8,000	105,000	0	5,060,846
塩尻市	9,275,000	7,131,700	6,222,700	512,000	397,000	0	6,980,900

10 活動資金の募集

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
佐久市	13,188,000	11,033,821	10,638,821	294,000	96,000	5,000	11,253,995
千曲市	7,230,000	10,428,742	10,313,742	36,000	79,000	0	10,850,720
東御市	3,667,000	3,638,152	3,573,152	27,000	38,000	0	3,772,410
安曇野市	12,236,000	11,548,036	11,088,036	51,000	317,000	92,000	11,930,999
小海町	570,000	1,394,260	1,354,260	0	40,000		1,392,000
佐久穂町	1,194,000	1,402,250	1,399,250	0	3,000		1,453,800
川上村	527,000	479,227	479,227	0	0		494,000
南牧村	387,000	264,068	254,068	10,000	0		246,500
南相木村	120,000	339,500	339,500	0	0		347,500
北相木村	95,000	141,600	141,600	0	0		143,500
軽井沢町	3,654,000	2,716,920	2,354,920	78,000	284,000		4,496,380
御代田町	2,334,000	2,578,928	2,560,928	18,000	0		2,687,610
立科町	787,000	1,117,500	1,117,500	0	0	0	1,188,400
長和町	676,000	1,232,200	1,206,200	5,000	21,000		1,236,500
青木村	487,000	637,700	637,700	0	0		725,400
下諏訪町	2,564,000	2,301,667	2,266,667	5,000	30,000		2,385,077

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
富士見町	1,851,000	1,907,033	1,851,033	56,000	0	0	1,792,113
原 村	999,000	842,151	797,151	0	45,000	0	839,861
辰 野 町	2,458,000	1,641,623	1,564,623	34,000	43,000		434,900
箕 輪 町	3,346,000	3,247,600	3,118,600	45,000	84,000		3,352,142
飯 島 町	1,105,000	2,271,250	2,197,250	0	74,000		2,294,918
南箕輪村	2,342,000	1,622,800	1,593,800	0	29,000		1,646,700
中 川 村	522,000	722,988	692,988	0	30,000		695,523
宮 田 村	1,176,000	1,407,700	1,395,700	0	12,000		1,467,800
松 川 町	1,457,000	1,445,000	1,409,000	0	36,000	0	1,486,500
高 森 町	1,478,000	810,881	810,881	0	0	0	919,054
阿 南 町	449,000	540,700	540,700	0	0		553,714
阿 智 村	680,000	855,445	850,445	0	5,000		851,548
平 谷 村	55,000	48,172	48,172	0	0		46,000
根 羽 村	110,000	183,718	183,718	0	0		161,296
下 條 村	354,000	563,800	563,800	0	0		582,600
売 木 村	73,000	149,900	149,900	0	0		125,230

10 活動資金の募集

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
天 龍 村	146,000	293,300	281,300	0	12,000		293,000
泰 阜 村	168,000	256,500	256,500	0	0		262,500
喬 木 村	626,000	722,000	722,000	0	0		731,650
豊 丘 村	739,000	415,791	415,791	0	0		508,805
大 鹿 村	146,000	188,700	188,700	0	0		192,700
上 松 町	564,000	1,060,380	1,060,380	0	0		1,131,930
南木曽町	480,000	547,311	547,311	0	0		600,900
木 曽 町	1,380,000	1,509,031	1,499,031	0	10,000	0	1,569,324
木 祖 村	301,000	370,500	370,500	0	0		369,800
王 滝 村	105,000	216,533	216,533	0	0		216,984
大 桑 村	436,000	585,320	585,320	0	0		589,520
麻 績 村	267,000	309,184	309,184	0	0		302,350
生 坂 村	195,000	305,500	305,500	0	0		301,850
山 形 村	1,013,000	223,400	220,400	0	3,000		222,500
朝 日 村	476,000	522,700	522,700	0	0	0	551,102
筑 北 村	503,000	708,450	708,450	0	0		717,510

(単位：円)

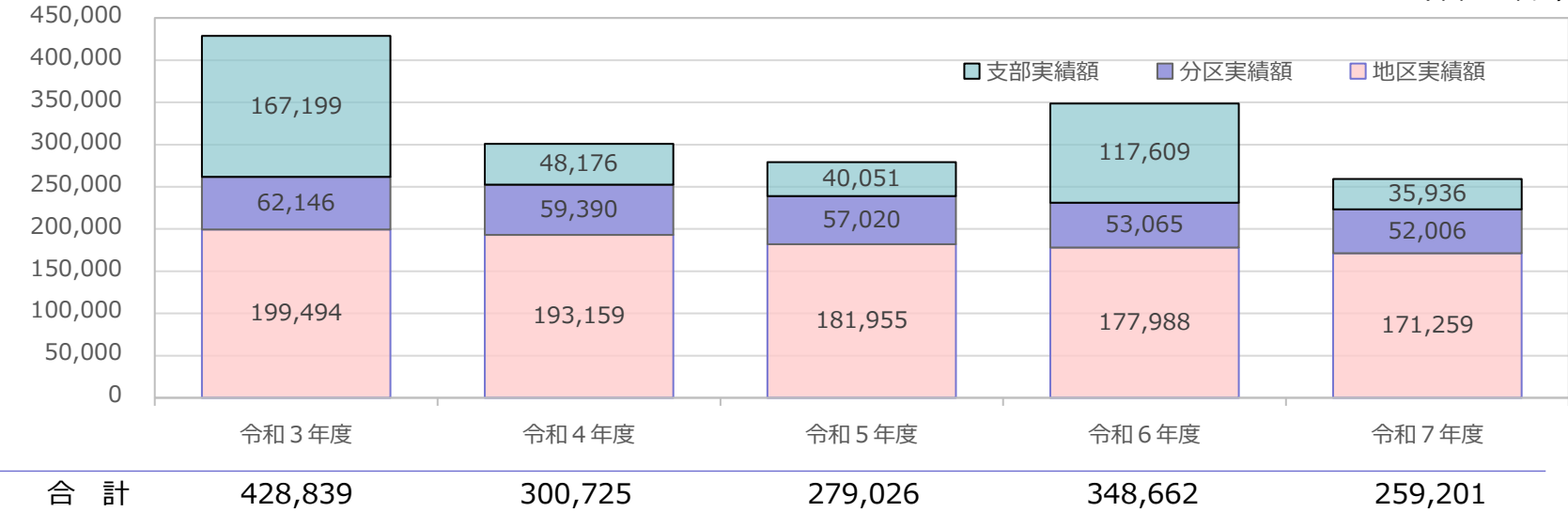
地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
池田町	1,115,000	1,239,950	1,221,950	18,000	0		1,256,710
松川村	1,139,000	420,900	404,900	0	16,000	0	1,250,570
白馬村	1,135,000	416,554	352,554	2,000	32,000	30,000	600,200
小谷村	343,000	649,582	649,582	0	0	0	636,550
坂城町	2,118,000	2,657,684	2,641,684	0	16,000	0	2,749,002
小布施町	1,243,000	679,296	634,296	45,000	0		811,964
高山村	801,000	619,500	619,500	0	0		632,000
山ノ内町	1,317,000	1,399,397	1,381,397	18,000	0	0	1,486,371
木島平村	465,000	382,172	382,172	0	0		395,730
野沢温泉村	344,000	388,743	388,743	0	0		383,937
栄村	202,000	299,800	299,800	0	0		271,500
信濃町	965,000	1,077,950	1,077,950	0	0		1,123,975
飯綱町	1,182,000	1,495,510	1,491,510	4,000	0		1,498,512
小川村	277,000	371,216	371,216	0	0		323,700
市計	227,959,000	179,056,936	171,258,936	2,399,000	3,424,000	1,975,000	185,216,171
町村計	52,041,000	53,199,435	52,006,435	338,000	825,000	30,000	56,029,712

(単位：円)

区分	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
		市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
市 町 村 計	232,256,371	223,265,371	2,737,000	4,249,000	2,005,000	241,245,883
支 部 扱	26,944,809	－	－	－	－	107,416,295
小 計 (①)	259,201,180	223,265,371	2,737,000	4,249,000	2,005,000	348,662,178
施設扱計(②)	54,776,071	－	－	－	－	89,862,996
指定事業海外 救援金 (③)	529,770	－	－	－	－	0
合計(①+②+③)	314,507,021	－	－	－	－	438,525,174

直近 5 年間の日赤活動資金の実績（支部・市町村計） ※指定事業海外救援金・施設実績除く

(単位：千円)



11

企業・団体との パートナーシップ

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進して
くださる企業・団体等とのパートナーシップを求めています。

企業・団体の社会貢献に対するご意向を尊重し、さまざまな形態でご協力
いただきました。

(3) 長野マラソン大会組織委員会とのパートナーシップ協定に基づく連携

長野マラソン大会組織委員会と日本赤十字社長野県支部は、ボランティア精神の醸成や社会貢献活動に関するパートナーシップ協定を締結しています。毎年、大会では赤十字PRブースを設けていただくほか、参加料に寄付を上乗せするチャリティーエントリーを企画いただき、赤十字の活動資金としてご寄付いただいています。

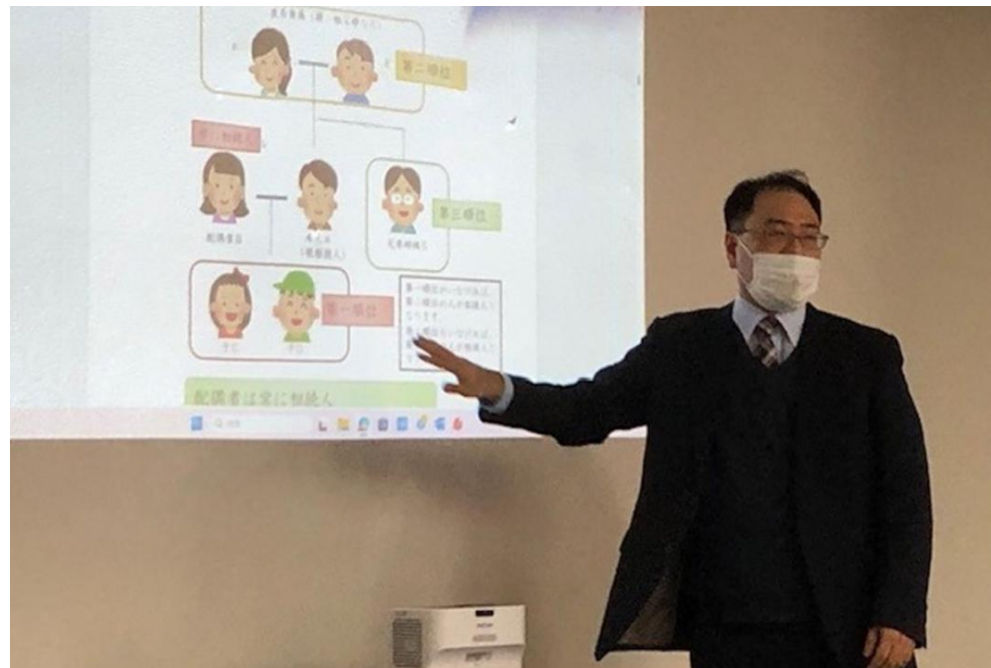


長野マラソン大会の赤十字PRブース



チャリティーエントリー寄付贈呈

長野県司法書士会との共同により相続・遺言セミナーを開催しました。昨年度に引き続き長野地方法務局に講師として加わっていただき「未来へつなぐ、自分に合った相続や遺言」と題し、県内2会場（松本市・小諸市）で行いました。相続や遺言書の作成の一助となる内容となりました。

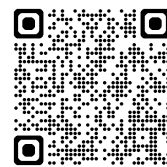


54

12

広報活動

大阪・関西万博の赤十字パビリオン
「国際赤十字・赤新月運動館」 ➡



設立時から変わらない日赤の使命「人間のいのちと健康、尊厳を守る」こと。
その原点に立ち返り、より多くの理解者を求める広報活動を展開しました。
令和7年度は、大阪・関西万博の赤十字パビリオンの出展に協力し、人道支援
団体としての国民理解に努めました。

(1) 広報強化期間（4月～9月）における集中的な広報の推進

毎年5月の赤十字運動月間に合わせ、大阪・関西万博の赤十字パビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」と創立150周年をPRするCMの放映や、地元テレビ局の番組への出演など、マスメディアを通じた広報を実施しました。

■ テレビCM



TVCM「赤十字は、動いてる！」Road to 150

■ テレビ番組への出演



信越放送放送「HOT情報」

（長野朝日放送「いまドキッ！」にも出演）

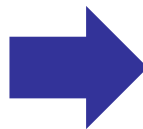
（２）支部広報委員会による戦略的広報の展開

支部事務局と各施設が連携し、広報業務を円滑かつ効果的に推進するため、広報担当課長及び担当で構成する広報委員会を設置しています。令和7年度は、創立150周年プロジェクトの一つである「ご当地ハートラちゃん」の長野県版のデザインを協議しました。

■ 委員会で検討したデザイン案（一部）



長野県らしさを活かした様々なデザインを検討



♥ 長野県
登山ハートラちゃん



(3) 広報資材の作成・配布

赤十字活動や寄付金の使途を分かりやすく伝えるため「全戸配布チラシ」やノベルティグッズとして「ハートラちゃんシール」を作製したほか、長野県にゆかりのある日本赤十字社 初代副社長 大給 恒の功績を伝える紙芝居を絵本化しました。

■ 全戸配布チラシ

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動の安定と継続のために皆様のご支援をよろしくお願いいたします

日本赤十字社の使命
わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

赤十字活動資金の使い道

①いのちを救う
災害発生
②ひとを育む
③ちいきを支える
④未来へつなげる

各府県で受け付けた日本赤十字活動資金の概算

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
金額(円)	293	289	287	280	278	277	274	275	267	249	241	241

71万部作成し県内各地で配布

■ ハートラちゃんシール

人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

こんにちは！
日本赤十字社公式マスコットキャラクタの「ハートラちゃん」です。

「苦しんでいる人を救いたい」という強い思いで、ハートランドの森からやってきました。おでこの赤十字標章、大きなハート型の耳や真っ白な体に赤いしま模様がチャームポイントです。

赤十字の活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます！

日本赤十字社は、苦しんでいる人を救いたいという想いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守るという使命を実現するため、幅広い事業を展開しています。

今後も人を救うための取り組みを続けていきますので、引き続きあたたいご支援をよろしくお願いいたします。

人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

裏面にはハートラちゃんと赤十字活動の紹介

(4) 情報発信の強化

大阪・関西万博の「国際赤十字・赤新月運動館」では、多くの来場者に赤十字運動への理解や共感を高めてもらい、人道アクションにつながるよう、赤十字の世界観を体験できる場としました。長野県支部からは、この運営スタッフとして、ボランティア2名、職員4名を派遣しました。また、長野県赤十字歴史館を通じて、活動の歴史と先人偉功を伝えました。



長野県赤十字歴史資料館



「国際赤十字・赤新月運動館」の記録冊子

13

事業実施体制の構築

多様化する社会において継続可能な事業運営に向け、役員のジェンダーバランスの確保など、これまでの事業運営上の課題等を踏まえた事業実施体制の構築に取り組みました。

また、ガバナンス強化に向けた内部統制機能の強化・高度化を図る監査実施するとともに、評価制度や研修による職員の成長支援や安定的な人材確保に向けた採用活動の強化を図りました。

(1) 評議員会の開催

評議員会において、次のとおり議案が審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

ア 令和7年6月18日

第1号議案 令和6年度事業報告について

第2号議案 令和6年度一般会計及び特別会議歳入歳出決算について

第3号議案 日本赤十字社代議員の選出について

第4号議案 日本赤十字社長野県支部副支部長の選出について

イ 令和7年8月（文書審議）

第1号議案 日本赤十字社長野県支部支部長の選出について

ウ 令和8年2月12日

第1号議案 令和8年度事業計画（案）について

第2号議案 令和8年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算（案）について

第3号議案 日本赤十字社長野県支部監査委員の選出について

(2) 郡市地区及び町村分区事務担当課長会議の開催

県内各地域における翌年度の赤十字事業の指針となる事業計画（案）及び予算（案）を協議するため、12月16日にWEB形式で開催しました。62

(3) 監査委員監査の実施

評議員会で選出された監査委員により、支部及び施設の業務管理及び執行並びに会計監査を実施しました。

監査委員	柳澤 勇	原 修二	大久保 憲一
------	------	------	--------

施設名	実施日
長野赤十字病院	令和8年5月27日
諏訪赤十字病院	5月28日
安曇野赤十字病院	5月26日
飯山赤十字病院	5月27日
下伊那赤十字病院	5月26日
川西赤十字病院	5月27日
松本赤十字乳児院	5月28日
長野県赤十字血液センター	5月26日
日本赤十字社長野県支部	5月28日

令和元年度決算から三様監査（①監査委員による監査 ②監査法人が会計監査を行う外部監査 ③本社監査室による内部監査）が実施されています。

(4) 赤十字精神をもった職員の成長支援と多様な人材の確保

職員の成長支援として、5つの階層別研修を実施しました。各職位に求められる役割への理解を促すとともに、職務遂行能力の向上を図りました。また、赤十字の歴史や組織の仕組みを再確認するプログラムを通じて、組織全体の一体感の醸成に努めました。

さらに、日本赤十字社の各種事業に携わる事務系総合職については、赤十字の使命や役割に共感し、将来にわたり社の発展に寄与する人材を確保するため、県内の施設が連携して採用活動を行いました。

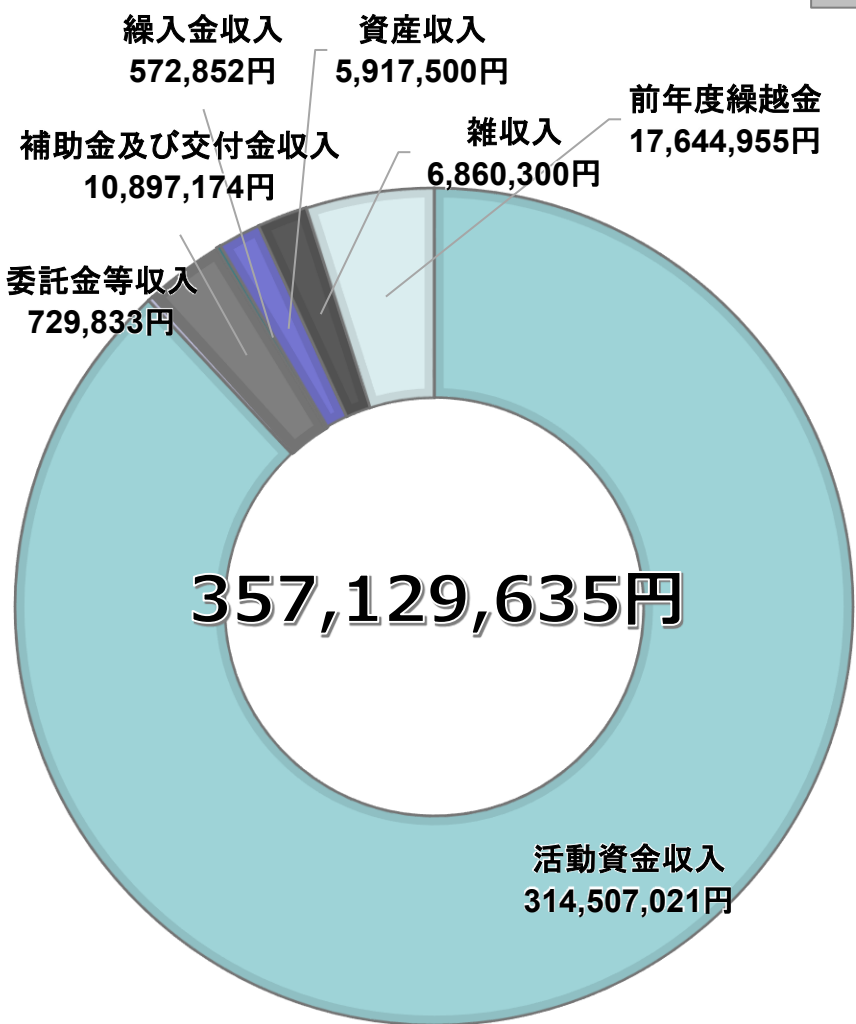


一般の方への「赤十字の説明」を考える受講者
(中堅職員研修)



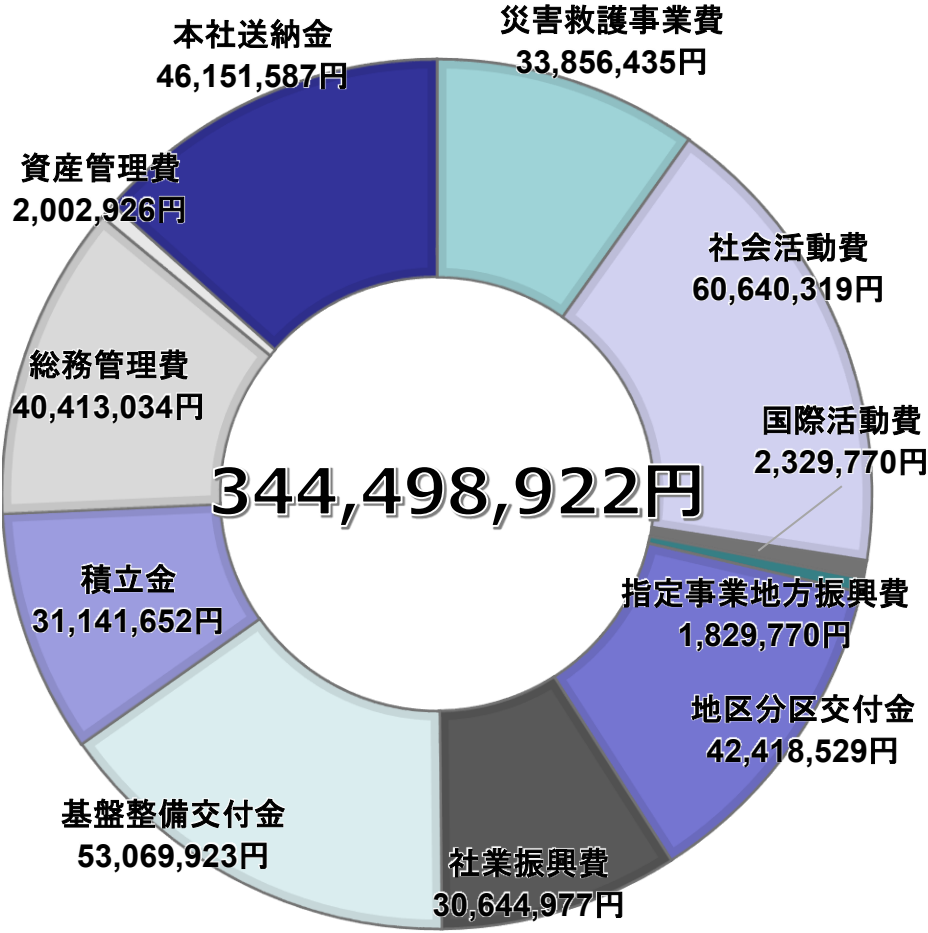
今後の赤十字について意見を出し合う受講者
(課長級職員研修)

歳 入



	R 7 年度 (円)	割合
活動資金収入	314,507,021	88.1%
委託金等収入	729,833	0.2%
補助金及び交付金収入	10,897,174	3.0%
繰入金収入	572,852	0.2%
資産収入	5,917,500	1.7%
雑収入	6,860,300	1.9%
前年度繰越金	17,644,955	4.9%
合計	357,129,635	

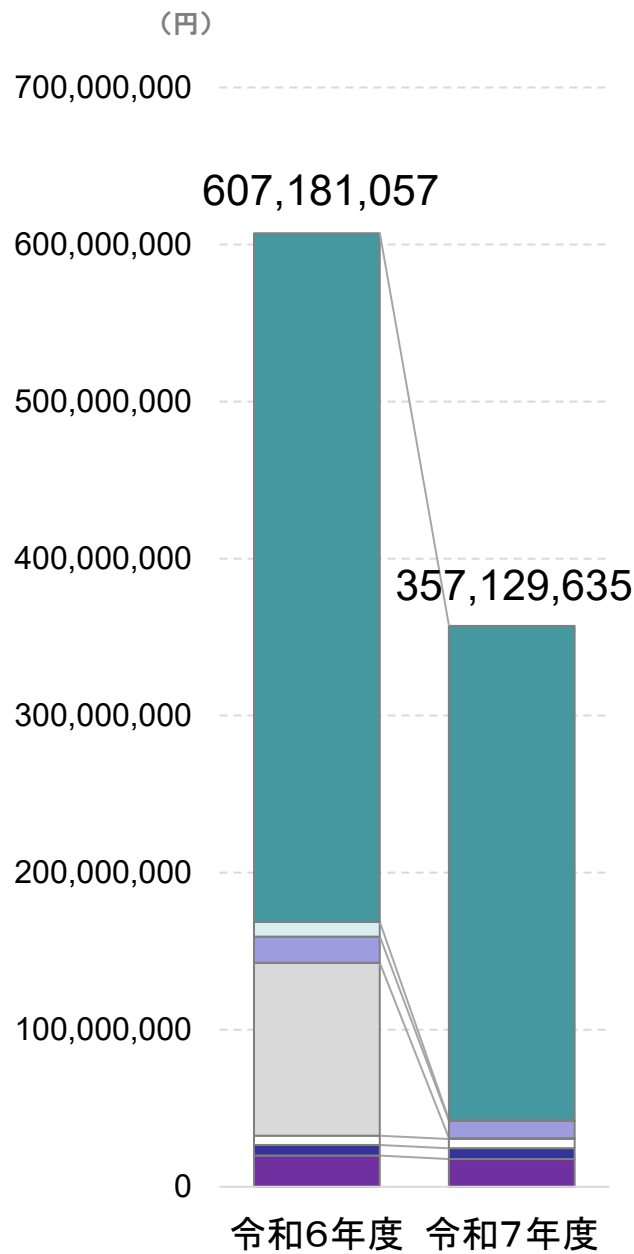
歳 出



	R 7 年度 (円)	割合
災害救護事業費	33,856,435	9.8%
社会活動費	60,640,319	17.6%
国際活動費	2,329,770	0.7%
指定事業地方振興費	1,829,770	0.5%
地区分区交付金	42,418,529	12.3%
社業振興費	30,644,977	8.9%
基盤整備交付金	53,069,923	15.4%
積立金	31,141,652	9.1%
総務管理費	40,413,034	11.7%
資産管理費	2,002,926	0.6%
本社送納金	46,151,587	13.4%
予備費	0	0.0%

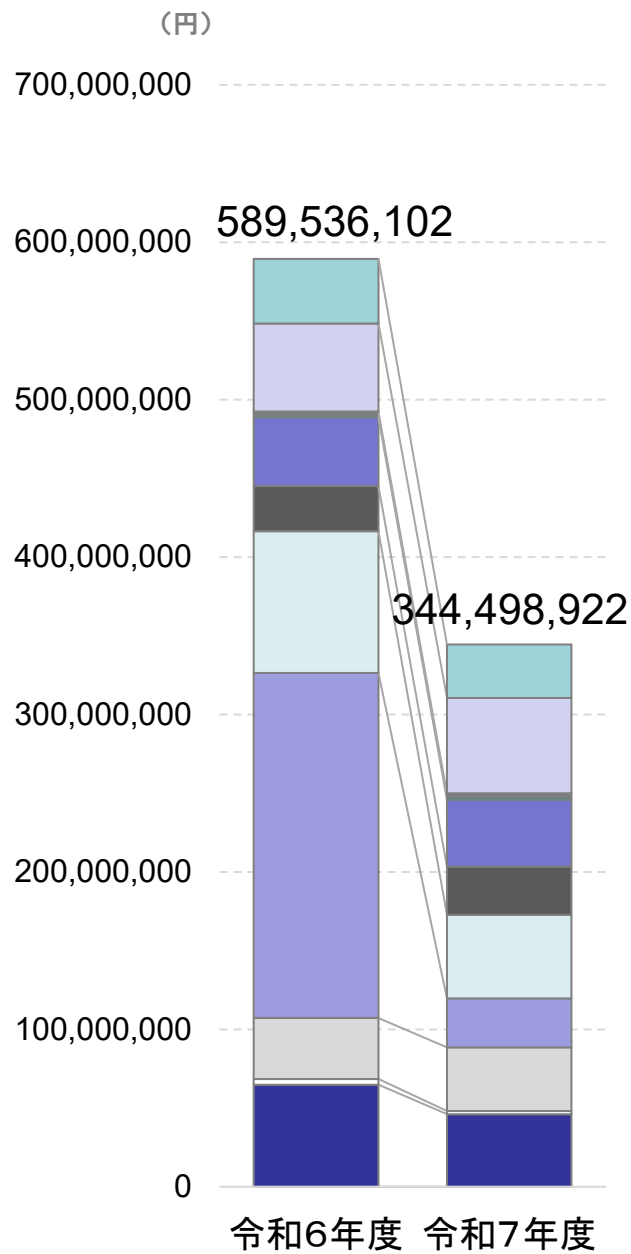
合計 344,498,922

歳入歳出差引残額（翌年度繰越額） 12,630,713



歳入

	R 6 年度	R 7 年度	増減 (円)
活動資金収入	438,525,174	314,507,021	△124,018,153
委託金等収入	9,282,810	729,833	△8,552,977
補助金及び交付金収入	16,835,689	10,897,174	△5,938,515
繰入金収入	110,042,705	572,852	△109,469,853
資産収入	5,904,000	5,917,500	13,500
雑収入	6,725,081	6,860,300	135,219
前年度繰越金	19,865,598	17,644,955	△2,220,643
合計	607,181,057	357,129,635	△250,051,422



歳 出

	R 6 年度	R 7 年度	増減 (円)
災害救護事業費	41,059,084 →	33,856,435	△7,202,649
社会活動費	56,023,069 →	60,640,319	4,617,250
国際活動費	2,100,000 →	2,329,770	229,770
指定事業振興費	1,600,000 →	1,829,770	229,770
地区分区交付金	43,617,555 →	42,418,529	△1,199,026
社業振興費	28,778,746 →	30,644,977	1,866,231
基盤整備交付金	89,918,647 →	53,069,923	△36,848,724
積立金	219,252,592 →	31,141,652	△188,110,940
総務管理費	38,689,343 →	40,413,034	1,723,691
資産管理費	3,633,290 →	2,002,926	△1,630,364
本社送納金	64,863,776 →	46,151,587	△18,712,189
予備費	0 →	0	0
合計	589,536,102 →	344,498,922	△245,037,180

歳入 (単位：円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部収入	379,188,000	357,129,635	607,181,057	△250,051,422	
1 活動資金収入	300,417,000	314,507,021	438,525,174	△124,018,153	【内訳】 地区分区 223,265,371 (△ 7,787,547) 支 部 35,935,809 (△81,673,451) 施 設 54,776,071 (△35,086,925) 海外救援金 529,770 (+ 529,770)
一般活動資金		270,234,687	404,366,843	△134,132,156	地区分区、支部及び医療施設あて寄付の減
法人活動資金		44,272,334	34,158,331	10,114,003	医療施設あて大口寄付の増
2 委託金等収入	730,000	729,833	9,282,810	△8,552,977	
他団体等委託金収入		0	15,000	△15,000	
災害等補償収入		729,833	9,267,810	△8,537,977	能登半島大雨災害にかかる災害救助費
3 補助金及び交付金収入	48,792,000	10,897,174	16,835,689	△5,938,515	
他団体等補助金収入		250,000	500,000	△250,000	長野県赤十字有功会からの補助金の減
管理経費調整交付金収入		492,258	558,684	△66,426	本社主催の研修及び会議への出席等に係る 本社交付金の減
施設整備交付金収入		6,510,263	13,535,100	△7,024,837	県内赤十字施設に対する本社交付金の減
障害者雇用促進事業助成金収入		580,000	580,000	0	
その他本社交付金収入		3,064,653	1,661,905	1,402,748	全国会員情報システム保守費用の発生による 本社交付金の増

歳入

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
5 繰入金収入	530,000	572,852	110,042,705	△109,469,853	
災害等資金繰入金収入		0	110,000,000	△110,000,000	(R6) 資金積立に係る本社ガイドラインの変更による資金の積み替え
国際救護活動資金繰入金収入		529,770	0	529,770	個人住民税控除適用海外救援金の送金にかかる資金繰入金
本社繰入金収入		43,082	42,705	377	
9 資産収入	5,904,000	5,917,500	5,904,000	13,500	
地代収入		5,917,500	5,904,000	13,500	電柱等敷地料収入及び駐車場貸付収入
10 雑収入	7,371,000	6,860,300	6,725,081	135,219	
講習会等負担金収入		5,652,957	5,679,044	△26,087	講習にかかる教本代収入、負担金収入の減
青少年赤十字等行事参加負担金収入		0	42,000	△42,000	
その他負担金収入		167,300	0	167,300	ブロック事務局長会議参加者負担金
雑収入		1,040,043	1,004,037	36,006	
11 前年度繰越金	15,444,000	17,644,955	19,865,598	△2,220,643	
前年度繰越金		17,644,955	19,865,598	△2,220,643	

歳出

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部費	379,188,000	344,498,922	589,536,102	△245,037,180	
1 災害救護事業費	35,536,000	33,856,435	41,059,084	△7,202,649	
災害救護指導事業費		21,926,668	29,051,018	△7,124,350	能登半島大雨災害にかかる災害救助費の施設への送金
災害救護装備費		6,915,637	4,765,266	2,150,371	救護装備整備品目の変更による増
非常災害救援物資整備費		0	2,233,000	△2,233,000	救援物資整備品目の変更による減
救護看護師指導養成費		5,014,130	5,009,800	4,330	
2 社会活動費	73,665,000	60,640,319	56,023,069	4,617,250	
救急法等普及費		19,876,729	17,811,077	2,065,652	救急法等指導管理費の増
奉仕団活動費		22,916,692	23,993,290	△1,076,598	地域赤十字奉仕団活動に係る補助金の見直しによる減、奉仕団活動管理費の減
青少年赤十字活動費		4,903,166	2,905,032	1,998,134	青少年赤十字活動管理費の増
社会福祉活動費		35,690	20,604	15,086	
医療事業費		12,519,368	11,274,566	1,244,802	医療事業管理費の増
血液事業費		388,674	18,500	370,174	
3 国際活動費	2,330,000	2,329,770	2,100,000	229,770	
国際救援事業費		1,260,000	1,470,000	△210,000	
個人住民税控除海外救援金		529,770	0	529,770	個人住民税控除適用海外救援金に係る送金
国際開発協力事業費		540,000	630,000	△90,000	

歳出

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
4 指定事業地方振興費	1,830,000	1,829,770	1,600,000	229,770	
災害救護設備整備費		1,300,000	1,600,000	△300,000	災害救護設備の整備数変更による増
支部国際活動基金積立金		529,770	0	529,770	個人住民税控除適用海外救済金にかかる積立金
5 地区区分交付金支出	51,400,000	42,418,529	43,617,555	△1,199,026	
事務費交付金支出		19,294,000	19,581,000	△287,000	地区区分における活動資金収入に伴う交付金（活動資金実績の8%）の減
事業費交付金支出		23,124,529	24,036,555	△912,026	地区区分における活動資金収入に伴う交付金（活動資金実績の10%）の減
6 社業振興費	32,818,000	30,644,977	28,778,746	1,866,231	
社業振興費		16,421,688	16,422,944	△1,256	
広報活動費		14,223,289	12,355,802	1,867,487	絵本「大給恒」作製費用、広報誌作製費の増
7 基盤整備交付金・補助金支出	53,071,000	53,069,923	89,918,647	△36,848,724	
医療施設基盤整備交付金支出		51,048,910	88,813,400	△37,764,490	医療施設に対する寄付金に伴う交付金（個人住民税控除適用寄付金を除く）の減
血液事業基盤整備交付金支出		3,749	21,247	△17,498	
社会福祉施設基盤整備交付金支出		2,017,264	1,084,000	933,264	社会福祉施設に対する寄付金に伴う交付金（個人住民税控除適用寄付金を除く）の増
10 積立金支出	31,286,000	31,141,652	219,252,592	△188,110,940	
災害等資金積立金支出		5,000,000	38,000,000	△33,000,000	積立額の減
施設整備準備資金積立金支出		18,300,000	173,891,000	△155,591,000	積立額の減
退職給与資金特別会計積立金支出		7,841,652	7,361,592	480,060	退職給与資金の積立額の増

歳出 (単位：円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
12 総務管理費	45,779,000	40,413,034	38,689,343	1,723,691	
評議員会等諸費		298,112	440,038	△141,926	評議員会に係る評議員旅費の減
総務管理費		39,521,922	37,656,305	1,865,617	社会保険料等の負担金の増
監査費		593,000	593,000	0	
13 資産取得及び資産管理費	2,321,000	2,002,926	3,633,290	△1,630,364	
修繕費		0	1,379,400	△1,379,400	(R6) 長野県赤十字歴史資料館の改修工事
損害保険料		536,266	598,063	△61,797	
管理諸費		1,466,660	1,655,827	△189,167	支部庁舎清掃費及び樹木剪定費等の減
14 本社送納金支出	46,152,000	46,151,587	64,863,776	△18,712,189	
本社送納金支出		46,151,587	64,863,776	△18,712,189	活動資金収入に伴う本社送納金（指定事業寄付金を除く活動資金実績の15%）の減
15 予備費	3,000,000	0	0	0	
予備費		0	0	0	

歳入歳出差引残額（翌年度繰越額）	12,630,713
------------------	------------

令和 7 年度医療施設特別会計収支決算概要

(単位：円)

(施設名) (科 目)		長 野	諏 訪	安曇野	飯 山	下伊那	川 西	合 計
医業収益	令和 7 年度	27,288,455,243	19,034,480,172	6,973,013,559	3,968,267,253	1,258,558,120	895,776,770	59,418,551,117
	令和 6 年度	26,671,038,090	18,464,304,076	6,447,296,608	3,866,573,028	1,210,663,281	838,474,175	57,498,349,258
	増 減	617,417,153	570,176,096	525,716,951	101,694,225	47,894,839	57,302,595	1,920,201,859
医業費用	令和 7 年度	26,144,145,008	18,574,279,861	6,696,756,753	4,059,742,032	1,278,501,225	920,789,946	57,674,214,825
	令和 6 年度	24,919,102,207	17,568,837,699	6,485,501,819	3,639,768,806	1,322,494,346	882,879,318	54,818,584,195
	増 減	1,225,042,801	1,005,442,162	211,254,934	419,973,226	△43,993,121	37,910,628	2,855,630,630
医療事業利益	令和 7 年度	1,144,310,235	460,200,311	276,256,806	△91,474,779	△19,943,105	△25,013,176	1,744,336,292
	令和 6 年度	1,751,935,883	895,466,377	△38,205,211	226,804,222	△111,831,065	△44,405,143	2,679,765,063
	増 減	△607,625,648	△435,266,066	314,462,017	△318,279,001	91,887,960	19,391,967	△935,428,771
医業外収益	令和 7 年度	776,270,328	790,490,456	491,320,819	407,796,780	176,520,835	176,599,607	2,818,998,825
	令和 6 年度	469,970,853	579,604,626	330,016,705	281,006,245	162,612,223	176,690,333	1,999,900,985
	増 減	306,299,475	210,885,830	161,304,114	126,790,535	13,908,612	△90,726	819,097,840
医業外費用	令和 7 年度	80,342,121	54,347,452	80,262,030	33,750,824	2,944,685	4,448,642	256,095,754
	令和 6 年度	63,040,377	49,557,305	60,173,827	18,384,404	3,615,102	3,367,346	198,138,361
	増 減	17,301,744	4,790,147	20,088,203	15,366,420	△670,417	1,081,296	57,957,393
医業外利益	令和 7 年度	695,928,207	736,143,004	411,058,789	374,045,956	173,576,150	172,150,965	2,562,903,071
	令和 6 年度	406,930,476	530,047,321	269,842,878	262,621,841	158,997,121	173,322,987	1,801,762,624
	増 減	288,997,731	206,095,683	141,215,911	111,424,115	14,579,029	△1,172,022	761,140,447

令和 7 年度医療施設特別会計収支決算概要

(単位：円)

(施設名)		長 野	諏 訪	安曇野	飯 山	下伊那	川 西	合 計
(科 目)								
病院収益 (総収益)	令和 7 年度	28,199,347,933	20,001,882,717	7,540,650,263	4,465,407,117	1,649,831,480	1,192,858,071	63,049,977,581
	令和 6 年度	27,290,479,881	19,219,018,142	6,843,104,228	4,241,465,465	1,581,934,113	1,135,454,515	60,311,456,344
	増 減	908,868,052	782,864,575	697,546,035	223,941,652	67,897,367	57,403,556	2,738,521,237
病院費用 (総費用)	令和 7 年度	26,407,916,156	18,920,106,592	6,912,104,761	4,237,355,992	1,488,017,818	1,010,081,293	58,975,582,612
	令和 6 年度	25,167,738,268	17,941,145,336	6,693,716,957	3,814,942,158	1,534,769,907	969,218,977	56,121,531,603
	増 減	1,240,177,888	978,961,256	218,387,804	422,413,834	△46,752,089	40,862,316	2,854,051,009
当期純利益	令和 7 年度	1,791,431,777	1,081,776,125	628,545,502	228,051,125	161,813,662	182,776,778	4,074,394,969
	令和 6 年度	2,122,741,613	1,277,872,806	149,387,271	426,523,307	47,164,206	166,235,538	4,189,924,741
	増 減	△331,309,836	△196,096,681	479,158,231	△198,472,182	114,649,456	16,541,240	△115,529,772

□実質的収支について
退職給付会計の決算整理において生じる数理計算上の差異（年金債務の増減）は、国際会計基準に則って相当額を給与費の増減で処理することになっています。
これは非資金性（現金の移動を伴わない）の処理であることから、当該数値（本社が指示する額）を除いた実質値を下表に示します。

数理計算上の 差異 (本社指示額)	令和 7 年度	△1,936,100,920	△1,086,404,486	△823,376,420	△532,526,821	△300,470,687	△124,259,472	△4,803,138,806
	令和 6 年度	△2,283,612,926	△1,127,175,365	△842,463,199	△706,824,081	△199,980,617	△163,882,468	△5,323,938,656
	増 減	347,512,006	40,770,879	19,086,779	174,297,260	△100,490,070	39,622,996	520,799,850
医療事業利益 【実質】	令和 7 年度	△744,217,670	△578,404,848	△513,268,491	△588,208,009	△274,831,244	△134,052,031	△2,832,982,293
	令和 6 年度	△466,176,700	△202,119,911	△859,860,323	△459,396,107	△281,322,363	△191,444,410	△2,460,319,814
	増 減	△278,040,970	△376,284,937	346,591,832	△128,811,902	6,491,119	57,392,379	△372,662,479
当期純利益 【実質】	令和 7 年度	△144,669,143	△4,628,361	△194,830,918	△304,475,696	△138,657,025	58,517,306	△728,743,837
	令和 6 年度	△160,871,313	150,697,441	△693,075,928	△280,300,774	△152,816,411	2,353,070	△1,134,013,915
	増 減	16,202,170	△155,325,802	498,245,010	△24,174,922	14,159,386	56,164,236	405,270,078

令和 7 年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

(施設名) (科 目)	長 野	諏 訪	安曇野	飯 山	下伊那	川 西	合 計
医業収益	27,288,455,243	19,034,480,172	6,973,013,559	3,968,267,253	1,258,558,120	895,776,770	59,418,551,117
医業費用	26,144,145,008	18,574,279,861	6,696,756,753	4,059,742,032	1,278,501,225	920,789,946	57,674,214,825
医療事業利益	1,144,310,235	460,200,311	276,256,806	△91,474,779	△19,943,105	△25,013,176	1,744,336,292
医業外収益	776,270,328	790,490,456	491,320,819	407,796,780	176,520,835	176,599,607	2,818,998,825
医業外費用	80,342,121	54,347,452	80,262,030	33,750,824	2,944,685	4,448,642	256,095,754
医業外利益	695,928,207	736,143,004	411,058,789	374,045,956	173,576,150	172,150,965	2,562,903,071
医療社会事業収益	11,992,054	1,806,281	12,078,050	2,996,917	107,680	40,214,000	69,194,982
医療奉仕費用	85,930,256	61,387,699	88,000,135	66,873,336	572,102	31,132,446	333,895,974
医療社会事業利益	△73,938,202	△59,581,418	△75,922,085	△63,876,419	△464,422	9,081,554	△264,700,992
付帯事業収益	121,648,768	160,307,928	58,492,760	86,346,167	214,394,848	80,267,694	721,458,165
付帯事業費用	92,752,231	206,060,029	46,825,391	74,442,990	203,419,217	53,585,330	677,085,188
付帯事業利益	28,896,537	△45,752,101	11,667,369	11,903,177	10,975,631	26,682,364	44,372,977

令和 7 年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

(施設名) (科 目)	長 野	諏 訪	安曇野	飯 山	下伊那	川 西	合 計
特別利益	981,540	14,797,880	5,745,075	0	249,997	0	21,774,492
特別損失	4,746,540	22,443,615	260,452	2,546,810	2,580,589	124,929	32,702,935
特別利益	△3,765,000	△7,645,735	5,484,623	△2,546,810	△2,330,592	△124,929	△10,928,443
法人税等	0	1,587,936	0	0	0	0	1,587,936
病院収益	28,199,347,933	20,001,882,717	7,540,650,263	4,465,407,117	1,649,831,480	1,192,858,071	63,049,977,581
病院費用	26,407,916,156	18,920,106,592	6,912,104,761	4,237,355,992	1,488,017,818	1,010,081,293	58,975,582,612
当期純利益	1,791,431,777	1,081,776,125	628,545,502	228,051,125	161,813,662	182,776,778	4,074,394,969
利益剰余金(欠損金) 累計額	15,038,949,574	9,910,033,279	△2,244,724,122	△752,630,599	515,094,059	△454,602,307	22,012,119,884

□実質的収支について

退職給付会計の決算整理において生じる数理計算上の差異（年金債務の増減）は、国際会計基準に則って相当額を給与費の増減で処理することになっています。
これは非資金性（現金の移動を伴わない）の処理であることから、当該数値（本社が指示する額）を除いた実質値を下表に示します。

数理計算上の差異 (本社指示額)	△ 1,936,100,920	△ 1,086,404,486	△ 823,376,420	△ 532,526,821	△ 300,470,687	△ 124,259,472	△ 4,803,138,806
医療事業利益【実質】	△744,217,670	△578,404,848	△513,268,491	△588,208,009	△274,831,244	△134,052,031	△2,832,982,293
当期純利益【実質】	△144,669,143	△4,628,361	△194,830,918	△304,475,696	△138,657,025	58,517,306	△728,743,837

令和 7 年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

区分		令和 7 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	増減	主な増減理由
事業活動資金	収 入	285,088,480	259,574,188	25,514,292	措置費（事務費）単価の増
	支 出	222,093,079	218,534,844	3,558,235	人件費、職員昇給分の増
	収支差額	62,995,401	41,039,344	21,956,057	
施設整備等資金	収 入	0	2,900,000	△2,900,000	(R6) 里親支援センター開設に伴う環境改善 事業補助金
	支 出	613,360	3,541,906	△2,928,546	(R6) 里親支援センター開設に伴う施設整備
	収支差額	△613,360	△641,906	28,546	
その他の活動資金	収 入	4,815,636	6,305,316	△1,489,680	退職者にかかる本社拠出金
	支 出	59,375,340	39,205,000	20,170,340	雇用継続、将来の人材確保のための積立金の増
	収支差額	△54,559,704	△32,899,684	△21,660,020	
当期資金収支差額合計		7,822,337	7,497,754	324,583	
前期末支払資金残高		74,647,967	67,150,213	7,497,754	
当期末支払資金残高		82,470,304	74,647,967	7,822,337	

スライド番号

災害救護

医療救護班数等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

救援物資の備蓄状況・・・・・・・・・・・・・・ 83

赤十字奉仕団

結成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

各奉仕団の事業実施状況・・・・・・・・・・・・ 87

青少年赤十字

加盟校名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95

救急法などの講習

支部主催講習会の実施状況・・・・・・・・・・・・ 101

各講習の指導員数及び講習資材の整備状況・・ 103

医療事業

病院別の診療科目及び病床数・・・・・・・・・・ 105

主な施設基準及び特殊診療等指定状況・・・・ 107

血液事業

血液センター別の供給本数・・・・・・・・・・・・ 109

血液型別「ラブラッド」会員数・・・・・・・・・・ 110

原料血漿の確保状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 110

日本赤十字社長野県支部役員名簿・・・・・・・・ 111

(統計数字等は、令和8年3月31日現在)



■ 医療救護班数等

医療救護班

施設名	医療救護班数（班）	人員（人）
長野赤十字病院	5	35
諏訪赤十字病院	3	21
安曇野赤十字病院	2	14
飯山赤十字病院	2	14
下伊那赤十字病院	2	12
川西赤十字病院	2	12
合 計	16	108

日赤災害医療コーディネートチーム

施設名	コーディネーター（人） ※医師	コーディネートスタッフ（人） ※看護師・主事	計（人）
長野赤十字病院	2	10	12
諏訪赤十字病院	2	6	8
安曇野赤十字病院	1	5	6
飯山赤十字病院	2	3	5
下伊那赤十字病院	1	1	2
川西赤十字病院	1	2	3
長野県支部事務局	0	4	4
合 計	8	28	40

■ 医療救護班数等

血液供給要員

施設名	人員（人）
長野県赤十字血液センター	12
長野県赤十字血液センター松本事業所	8
合 計	20

防災ボランティア

団体名	人員（人）	備考
長野県赤十字救護隊	70	4方面隊設置
長野県柔道整復師会赤十字奉仕団	455	4地区設置
赤十字飛行隊長野支隊	1	本社直轄
合 計	526	

■ 救援物資の備蓄状況

管理	保管場所			毛布(枚)	緊急セツト(セツト)	安眠セツト(セツト)	タオルセツト(枚)
支部	北信	支 部 倉 庫	長野県支部	870	281	663	1,410
		中野市倉庫	中野市防災広場	1,000	120	498	
		須坂市倉庫	須坂市老人福祉センター「永楽荘」	560		150	
		千曲市倉庫	千曲市ふれあい福祉センター	710	216	795	
	中信	松本市倉庫	松本平広域公園	1,983	1,926	2,844	2,680
		大町市倉庫	大町市常盤貝原	1,570	1,500	465	
		木曽町倉庫	木曽広域情報センター	800		153	
		池田町倉庫	池田町防災倉庫	400		200	
	東信	東御市倉庫	東御市第二体育館	500			
		佐久市倉庫	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	830	120	400	
		小海町倉庫	小海町旧松原保育所跡地	0	420	940	
			小海町総合センター	0	330	510	
		上田市倉庫	上田市立清明小学校児童クラブ	300		150	
		小諸市倉庫	小諸市総合体育館	400			
		軽井沢町倉庫	軽井沢風越公園総合体育館	190	19	185	8

■ 救援物資の備蓄状況

管理	保管場所			毛布(枚)	緊急セツト(セツト)	安眠セツト(セツト)	タオルセツト(枚)
支部	南信	辰野町倉庫	辰野町荒神山ｽﾎﾟｰﾂ公園	280			
		平谷村倉庫	飯田広域消防平谷分署隣	460			
		駒ヶ根市倉庫	駒ヶ根市防災備蓄倉庫	770	178	180	
		岡谷市倉庫	諏訪湖ﾊｲﾂ駐車場防災倉庫	200		100	
		喬木村倉庫	喬木村帰牛原	550		200	
		天龍村倉庫	天龍村老人福祉セﾝﾀｰ	500		240	
		伊那市倉庫	伊那市防災倉庫	1,372	589	349	
		富士見町倉庫	富士見町防災ｽﾃｰｼｮﾝ	508	192	300	100
小 計				14,753	5,891	9,322	4,190
施設	赤十字施設(7)	各赤十字病院・血液セﾝﾀｰ	1,686	0	692	0	
地区分区	地区分区倉庫(79)	各事務局	3,228	0	81	0	
合 計				19,667	5,891	10,095	4,190

■ 結成状況

○ 地域赤十字奉仕団

区分	結成数	団員数（人）
長野市	1	2,035
松本市	1	871
上田市	1	2,023
岡谷市	1	200
飯田市	1	1,293
諏訪市	1	176
須坂市	1	582
小諸市	1	1,814
伊那市	1	310
駒ヶ根市	1	90
中野市	1	1,875
大町市	1	500
飯山市	1	300
茅野市	1	244
塩尻市	1	511
佐久市	1	1,211
千曲市	1	836
東御市	1	262
安曇野市	1	856
市地区奉仕団 小計	19	15,989

区分	結成数	団員数（人）
南佐久郡	6	378
北佐久郡	3	107
小県郡	2	119
諏訪郡	3	316
上伊那郡	6	772
下伊那郡	13	1,776
木曽郡	6	143
東筑摩郡	5	195
北安曇郡	4	152
埴科郡	1	260
上高井郡	2	41
北信	4	210
上水内郡	3	229
郡地区奉仕団 小計	58	4,698

区分	結成数	団員数（人）
地域奉仕団 合計①	77	20,687

■ 結成状況

○ 青年赤十字奉仕団

区分	結成数	団員数（人）
諏訪赤十字看護	1	86
長野大学	1	2
青年（社会人）	1	9
青年奉仕団 合計②	3	97

○ 特殊赤十字奉仕団

区分	結成数	団員数（人）
救護隊	1	71
水上安全	1	20
安全	1	14
大町市救急員会	1	15
青少年赤十字賛助	1	10
柔道整復師会	1	455
広報	1	88
音訳	1	26
赤十字飛行隊長野支隊	1	1
特殊奉仕団 合計③	9	700

区分	結成数	団員数（人）
赤十字奉仕団 合計①～③ （前年度）	89 （89）	21,484 （23,000）

■ 各奉仕団の事業実施状況

地域赤十字奉仕団

内容	実施日	場 所
赤十字奉仕団長野県支部委員会	令和 7 年 4 月18日	長野県支部
赤十字奉仕団長野県支部委員会常任委員会	令和 7 年 4 月18日	長野県支部
	10月 3 日	
	令和 8 年 1 月30日	
赤十字奉仕団長野県支部委員会指導講師会議	令和 7 年 4 月 9 日	長野県支部
	6月10日	
	7月16日	
	10月 3 日	
	令和 8 年 2 月26日	
赤十字奉仕団中央委員会	令和 7 年 7 月 3 日～ 4 日	本社
第 3 ブロック支部赤十字奉仕団委員長会議	令和 7 年 9 月 4 日～ 5 日	福井県

■ 各奉仕団の事業実施状況

地域赤十字奉仕団

内容	実施日	場 所
地域赤十字奉仕団幹部研修会	令和 7 年 6 月19日	長野市
	6 月26日	佐久穂町
	7 月 2 日	大町市
	7 月 4 日	茅野市
	7 月10日	伊那市
	7 月11日	飯田市
防災啓発研修会	令和 7 年 7 月25日	長野市
赤十字ボランティア・リーダー研修会	令和 7 年 8 月23日～25日	本社
赤十字奉仕団指導講師研修会	令和 8 年 2 月13日～15日	本社

■ 各奉仕団の事業実施状況

青年赤十字奉仕団

内容	実施日	場 所
青年赤十字奉仕団全国協議会	令和7年5月17日	本社（Web）
	令和8年1月17日	
大阪・関西万博「国際赤十字・赤新月運動館」 スタッフ派遣	令和7年6月1日～5日	大阪府
第3ブロック支部青年赤十字奉仕団代表者会議	令和7年6月21日～22日	富山県
長野県青年赤十字奉仕団連絡協議会・交流会	令和7年11月2日	松本市
	令和8年3月22日	長野県支部
防災啓発活動 献血推進活動 骨髄バンク推進活動 地域活動への参加（諏訪湖上清掃ほか） サマーチャレンジボランティアへの参加 入院患者へのメッセージカード等の作成 海外たすけあい募金活動	通年	県内各地

■ 各奉仕団の事業実施状況

特殊赤十字奉仕団

○救護隊

内容	実施日	場 所
懇談会（柔道整復師会・支部・救護隊参加）	令和7年7月5日	長野県支部
第55回長野びんずる臨時救護	令和7年8月2日	長野市
長野県支部合同災害救護訓練	令和7年9月28日	飯山市
第38回諏訪湖マラソン大会臨時救護	令和7年10月26日	諏訪市
長野県支部主催 赤十字救急法基礎講習会 赤十字救急法救急員養成講習会	令和7年6月7日 6月8日・15日	木曽町
	令和7年6月22日 6月28日・29日	長野市
	令和7年11月8日 11月15日・16日	上田市
	令和7年11月30日 12月6日・7日	南箕輪村
	令和7年12月14日 12月20日・21日	諏訪市
	令和8年2月1日 2月7日・8日	長野市
各方面隊 総会・役員会 救援物資搬出・たな卸し 防災イベント・各臨時救護への参加	通年	県内各地

■ 各奉仕団の事業実施状況

○水上安全奉仕団

内容	実施日	場 所
長野県支部主催 赤十字水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	令和7年 6月29日 7月 6日・13日	長野市
長野県支部主催 赤十字水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	令和7年 8月23日・24日	信濃町
善光寺平学童安全水泳大会運営スタッフ	令和7年 9月15日	長野市

○安全奉仕団

内容	実施日	場 所
赤十字救急法研修会	令和7年 4月 5日	松本市
	令和7年 5月10日	
	令和7年 7月12日	
	令和7年 9月 6日	
	令和7年11月 8日	
	令和7年12月 6日	
	令和8年 2月 7日	
長野県支部主催 赤十字救急法基礎講習会 赤十字救急法救急員養成講習会	令和7年 6月 7日 6月14日・21日	松本市

■ 各奉仕団の事業実施状況

○大町市救急員会

内容	実施日	場 所
長野県支部主催 赤十字救急法基礎講習会 赤十字救急法救急員養成講習会	令和7年4月12日 4月19日・20日	大町市
大町市地震総合防災訓練への参加	令和7年8月23日	大町市
第42回大町アルプスマラソン臨時救護	令和7年10月19日	大町市
救急法研修	通年	大町市

○青少年赤十字賛助奉仕団

内容	実施日	場 所
長野県青少年赤十字指導者協議会総会 賛助奉仕団総会	令和7年5月28日	長野県支部
第3ブロック支部賛助奉仕団研修会	令和7年6月17日～18日	三重県
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会・総会	令和7年7月8日～9日	本社
長野県青少年赤十字指導者協議会役員会	令和7年12月23日	長野県支部
長野県青少年赤十字指導者協議会研修会	令和8年2月27日	Web
青少年赤十字指導者協議会への協力 加盟校登録式への講師派遣 青少年赤十字プログラム普及	通年	県内各地

■ 各奉仕団の事業実施状況

○ 柔道整復師会奉仕団

内容	実施日	場 所
懇談会（救護隊・支部・柔道整復師会参加）	令和7年7月5日	長野市
第22回小布施見にマラソン臨時救護	令和7年7月13日	小布施町
第55回長野びんずる臨時救護	令和7年8月2日	長野市
長野県支部合同災害救護訓練	令和7年9月28日	飯山市
諏訪湖マラソン大会臨時救護	令和7年10月26日	諏訪市
救急法短期講習会	令和8年2月14日	南信地域

○ 広報奉仕団

内容	実施日	場 所
歴史資料館の案内、勉強会、清掃奉仕、 救急法短期講習会、 （長野県赤十字歴史資料館案内ボランティア班）	通年	長野市
紙芝居の作成・上演、絵本の制作 （紙芝居班）	通年	飯田市 ほか
五稜郭であいの館の案内、清掃奉仕、案内研修 （龍岡城五稜郭保存会案内ボランティア班）	通年	佐久市 ほか

■ 各奉仕団の事業実施状況

○ 音訳奉仕団

内容	実施日	場 所
総会	令和 7 年 4 月 10 日	松本市
県視覚障害者福祉協会主催 音訳ボランティアセミナー	令和 7 年 10 月 3 日	松本市
松本市中央図書館主催 朗読セミナー	令和 7 年 11 月 15 日	松本市
上田点字図書館主催 デージー信州研修会（オンライン）	令和 8 年 1 月 14 日	松本市（Web）
音訳者養成講座 定例会・勉強会（自主講習会）	通年	松本市 ほか

■加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	加盟校名
長野市	小学校	13	古牧・吉田・湯谷・若槻・芋井・安茂里・柳原・川田・七二会・信州新町・長沼・山王・信里
	中学校	15	柳町・東部・西部・東北・北部・裾花・櫻ヶ岡・川中島・更北・戸隠・鬼無里・大岡・松代・長野市立長野・信大附属長野
	高等学校	13	長野・長野西・長野商業・長野東・長野工業・篠ノ井高校犀峽校・長野南・篠ノ井・更級農業・松代・市立長野・文化学園長野・長野俊英
	特別支援学校	2	長野盲・長野養護
松本市	小学校	6	並柳・田川・開明・菅野・二子・附属松本
	中学校	8	清水・鎌田・松島・開成・高綱・明善・奈川・信大附属松本
	高等学校	9	梓川・松本県ヶ丘・松本美須々ヶ丘・松本深志・松本蟻ヶ崎・松本筑摩・松本国際・松本第一・エクセラン
上田市	小学校	0	
	中学校	5	塩田・第一・第六・真田・丸子北
	高等学校	4	上田東・丸子修学館・上田西・さくら国際
岡谷市	小学校	2	長地・上の原
	中学校	0	
	高等学校	1	岡谷工業
飯田市	小学校	2	川路・鼎
	中学校	5	飯田西・緑ヶ丘・旭ヶ丘・竜峽・鼎
	高等学校	3	飯田・飯田風越・飯田OIDE長姫

■加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	加盟校名
諏訪市	小学校	3	城南・四賀・湖南
	中学校	1	諏訪
	高等学校	0	
須坂市	小学校	11	須坂・小山・森上・日滝・豊洲・日野・井上・高甫・旭ヶ丘・仁礼・豊丘
	中学校	4	常盤・相森・墨坂・東
	高等学校	3	須坂東・須坂・須坂創成
小諸市	小学校	0	
	中学校	1	芦原
	高等学校	2	小諸商業・小諸
伊那市	小学校	4	伊那・西春近南・西春近北・高遠
	中学校	2	春富・高遠
	高等学校	3	高遠・伊那北・伊那弥生ヶ丘
駒ヶ根市	小学校	0	
	中学校	1	赤穂
	高等学校	0	
中野市	小学校	2	中野・平野
	中学校	2	中野平・豊田
	高等学校	2	中野立志館・中野西

■加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	加盟校名
大 町 市	小 学 校	4	大町東・大町南・大町北・大町西
	中 学 校	0	
	高 等 学 校	1	大町岳陽
飯 山 市	小 学 校	0	
	中 学 校	0	
	高 等 学 校	1	飯山
茅 野 市	小 学 校	1	宮川
	中 学 校	2	東部・長峰
	高 等 学 校	1	茅野
塩 尻 市	小 学 校	3	塩尻東・片丘・宗賀
	中 学 校	1	両小野
	高 等 学 校	3	塩尻志学館・田川・東京都市大学塩尻
佐 久 市	小 学 校	2	臼田・中佐都
	中 学 校	5	野沢・中込・浅間・東・浅科
	高 等 学 校	5	長野西高校望月サテライト・岩村田・野沢北・ 佐久平総合技術浅間キャンパス・佐久平総合技術臼田キャンパス
千 曲 市	小 学 校	0	
	中 学 校	3	更埴西・屋代・戸倉上山田
	高 等 学 校	1	屋代南

■加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	加盟校名
東 御 市	小 学 校	1	北御牧
	中 学 校	1	北御牧
	高 等 学 校	1	東御清翔
安 曇 野 市	小 学 校	1	豊科南
	中 学 校	1	穂高東
	高 等 学 校	4	明科・豊科・南安曇農業・穂高商業
南 佐 久 郡	小 学 校	1	小海
	中 学 校	0	
	高 等 学 校	1	小海
北 佐 久 郡	小 学 校	3	軽井沢西部・御代田南・立科
	中 学 校	2	軽井沢・御代田
	高 等 学 校	2	蓼科・軽井沢
小 県 郡	小 学 校	1	青木
	中 学 校	1	青木
諏 訪 郡	小 学 校	0	
	中 学 校	2	下諏訪社・富士見
	高 等 学 校	1	下諏訪向陽

■加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	加盟校名
上伊那郡	小学校	3	川島・飯島・中川西
	中学校	4	辰野・箕輪・飯島・中川
	高等学校	3	辰野・箕輪進修・上伊那農業
下伊那郡	小学校	2	喬木第二・新野
	中学校	1	天龍
	高等学校	2	松川・阿智
木曽郡	小学校	0	
	中学校	1	木祖
	高等学校	0	
東筑摩郡	小学校	0	
	中学校	2	生坂・聖南
	高等学校	0	
北安曇郡	小学校	1	松川
	中学校	2	松川・白馬
	高等学校	2	池田工業・白馬
埴科郡	小学校	0	
	中学校	1	坂城
	高等学校	1	坂城

■加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校種	加盟校数	加盟校名
上 高 井 郡	小 学 校	1	栗乃丘
	中 学 校	2	小布施・高山
下 高 井 郡	小 学 校	1	山ノ内東
	中 学 校	1	木島平
	高 等 学 校	0	
上 水 内 郡	小 学 校	2	三水・信濃
	中 学 校	1	飯綱
	高 等 学 校	0	
下 水 内 郡	小 学 校	0	
	中 学 校	1	栄

区分	校種	加盟校数
小 計	小 学 校	71
	中 学 校	78
	高 等 学 校	69
	特別支援学校	2
合 計		220

■ 支部主催講習会の実施状況

講習区分		開催日	場所	受講者数 (人)
救 急 法	基 礎 講 習	令和7年 4月12日	大 町 市	19
		5月24日	松 川 町	30
		6月 7日	木 曽 町	6
		6月 7日	松 本 市	21
		6月22日	長 野 市	25
		11月 8日	上 田 市	28
		11月30日	南箕輪村	27
		12月14日	諏 訪 市	25
		令和8年 2月 1日	長 野 市	25
	救急員養成講習	令和7年 4月19日・20日	大 町 市	17
		5月25日・ 6月 1日	松 川 町	24
		6月 8日・15日	木 曽 町	5
		6月14日・21日	松 本 市	18
		6月28日・29日	長 野 市	26
		11月15日・16日	上 田 市	19
		12月 6日・ 7日	南箕輪村	18
		12月20日・21日	諏 訪 市	21
		令和8年 2月 7日・ 8日	長 野 市	20

■ 支部主催講習会の実施状況

講習区分		開催日	場所	受講者数 (人)
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	令和7年 6月29日 7月 6日・13日	長野市	6
	救助員Ⅱ養成講習	令和7年 8月23日・24日	信濃町	2
健康生活 支援講習	支援員養成講習	令和7年 8月23日・24日	長野市	4
		9月13日・14日	諏訪市	8
	短期講習	令和7年 7月26日	諏訪市	8
		11月 8日	飯山市	9
		令和8年 1月24日	安曇野市	5
幼児安全法	支援員養成講習	令和7年 8月 2日・ 3日	諏訪市	9
		令和8年 2月28日・ 3月1日	安曇野市	5
	短期講習	令和7年 5月23日	佐久市	4
		6月 6日	長野市	2
		7月19日	飯山市	9
		7月26日	諏訪市	8
		令和8年 1月24日	安曇野市	5
合 計				458

■ 各講習の指導員数

講習区分	指導員数（人）		
	ボランティア	職員	計
救 急 法	144	85	229
水 上 安 全 法	9	1	10
健康生活支援講習	24	61	85
幼 児 安 全 法	18	64	82
雪 上 安 全 法	0	2	2
合 計	195	213	408

■ 講習資材の整備状況

整備品目	数量（体、台）
人工呼吸訓練人形（乳児）	26
心肺蘇生訓練人形（乳児）	20
心肺蘇生訓練人形（幼児）	26
心肺蘇生訓練人形（成人）	40
心配蘇生訓練人形（成人半身）	152
心肺蘇生訓練人形（ミニアン）	60
自動体外式除細動器（AED）トレーナー	152

【参考】講習種別等

講習区分	講習名	講習内容	講習時間
救 急 法	基礎講習	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生法、A E Dを用いた除細動、気道異物除去法）等救急法の基礎	4時間
	救急員養成講習	急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、搬送及び救護	10時間
	短期講習	救急法基礎講習及び救急法救急員養成講習の内容の一部	2時間程度
水 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	14時間
	救助員Ⅱ養成講習	海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	12時間
	短期講習	救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部	2時間程度
健康生活支援講習	支援員養成講習	高齢期における健康の維持と増進、自立に向けた生活の仕方 や工夫及び地域の高齢者支援	9時間
	災害時高齢者生活支援講習	災害時における高齢者を守るための知識及び支援技術	2時間
	短期講習	健康生活支援講習支援員養成講習の内容の一部を選択	2時間程度
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	こどもに起こりやすい事故の予防と手当及びこどもの病気への対応	10時間
	短期講習	支援員養成講習の内容の一部を選択	2時間程度

■ 病院別の診療科目及び病床数

病院名	診療科目	許可病床数
長野赤十字病院	内科、血液内科、呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・内分泌内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、脳神経外科、アレルギー科、小児科、産婦人科、婦人腫瘍科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、精神科、小児外科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科 (38科)	一般 617 精神 35 計 652
諏訪赤十字病院	内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科 (32科)	一般 425 精神 30 計 455
安曇野赤十字病院	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科 (24科)	一般 306
飯山赤十字病院	内科、外科、脳神経外科、眼科、小児科、整形外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、泌尿器科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、呼吸器科、麻酔科、脳神経内科、循環器科、消化器科、心療内科、救急科 (21科)	一般 230 療養型 44 計 274

■ 病院別の診療科目及び病床数

病院名	診療科目	許可病床数
下伊那赤十字病院	内科、心療内科、精神科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、消化器外科 (15科)	一般 56 療養型 6 計 62 介護医療院 34 計 34
川西赤十字病院	内科、消化器科、循環器科、リハビリ科、外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、小児科 (10科)	一般 51 療養型 33 計 84
合 計		一般 1,685 精 神 65 療養型 83 計 1,833 介護医療院 34 計 34

■ 主な施設基準及び特殊診療等指定状況

指定区分		病 院 名					
		長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西
急性期一般入院料1		○	○	○	○		
急性期一般入院料4						○	○
急性期一般入院料5							
D P C 対象病院		○	○	○	○		
救命救急センター		○	○				
救急告示病院		○	○	○	○	○	○
エイズ拠点病院		○	○				
エイズ協力病院				○			
がん診療連携拠点病院		○	○				
地域周産期母子医療センター		○	○				
災害拠点病院	基幹災害拠点病院	○					
	地域災害拠点病院	○	○				
地域医療支援病院		○	○	○			
へき地医療拠点病院					○		

■ 主な施設基準及び特殊診療等指定状況

指定区分		病 院 名					
		長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西
訪問看護ステーション		○	○	○	○	○	○
訪問リハビリテーション		○			○	○	○
通所リハビリテーション					○	○	
指定居宅介護支援事業者		○	○	○	○	○	○
医療保険適用療養病床					44床	6床	33床
介護保険適用療養病床							0床
回復期リハビリテーション病棟				45床	60床		
地域包括ケア病床				44床	60床	34床	41床
I C U 病床		12床	8床				
H C U 病床		10床	8床	8床	0床		
透析病床		50床	38床	26床	25床	17床	
介護医療院						34床	
臨床研修指定病院	基幹型	○	○	○			
	協力型	○	○		○		
	協力施設					○	○
病院機能評価認定病院		○	○	○	○		

■ 血液センター別の供給本数

種 別 区 分	全 血 (本)	赤血球 (本)	血 漿 (本)	血小板 (本)	合 計 (本)
長野センター	0 (0)	17,501 (34,948)	3,577 (9,656)	4,454 (44,600)	25,532 (89,204)
松本事業所	0 (0)	23,676 (46,434)	9,243 (20,679)	6,020 (60,445)	38,939 (127,558)
計	0 (0)	41,177 (81,382)	12,820 (30,335)	10,474 (105,045)	64,471 (216,762)
令和6年度	0 (0)	40,625 (80,299)	11,589 (26,790)	10,046 (100,990)	62,260 (208,079)

() 内は200mL献血に換算した本数

■ 血液型別「ラブラッド」会員数

区 分	A 型 (人)	O 型 (人)	B 型 (人)	A B 型 (人)	合計 (人)
登録者数(人)	19,827(156)	16,897(161)	12,298(118)	5,497(63)	54,519(498)
令和 6 年度(人)	17,157(143)	14,597(135)	10,743(98)	4,801(53)	47,298(429)

() 内は R h (-) を再掲

■ 原料血漿確保状況

区 分	確保目標量(L)	確 保 量(L)	達 成 率(%)
令和 7 年度	24,032	22,972	95.6
	(全国 : 1,240,000)	(1,256,516)	(101.3)
令和 6 年度	23,698	23,162	97.7
	(全国 : 1,230,000)	(1,242,817)	(101.0)

■長野県支部役員等

職 名	氏 名	任 期	公職名等
支部長	阿部 守一	R07.09.01～R10.08.31	長野県知事
副支部長	関 昇一郎	R06.07.03～R09.07.02	長野県副知事
	白鳥 孝	R07.06.18～R10.06.17	長野県市長会長（伊那市長）
	羽田 健一郎	R07.04.01～R10.03.31	長野県町村会長（長和町長）
監査委員	牛越 徹	R05.04.21～R08.04.20	長野県市長会 相談役（大町市長）
	柳澤 勇	R05.04.01～R08.03.31	前 長野県立病院機構 監事
	原 修二	R07.03.01～R10.02.29	元 飯山赤十字病院事務部長
参 与	笹淵 美香	R06.04.01～	長野県健康福祉部長
	渡邊 卓志	R07.04.01～	長野県危機管理部長
	福田 雄一	R06.04.01～	長野県市長会事務局長
	丑沢 克年	R07.04.01～	長野県町村会事務局長

■ 長野県支部評議員（任期：令和7年2月14日～令和10年2月13日）

選出区域	氏名	公職名等
長野市地区	荻原 健司	長野市長
松本市地区	臥雲 義尚	松本市長
上田市地区	土屋 陽一	上田市長
岡谷市地区	早出 一真	岡谷市長
飯田市地区	佐藤 健	飯田市長
諏訪市地区	金子 ゆかり	諏訪市長
須坂市地区	三木 正夫	須坂市長
小諸市地区	小泉 俊博	小諸市長
伊那市地区	白鳥 孝	伊那市長
駒ヶ根市地区	伊藤 祐三	駒ヶ根市長
中野市地区	湯本 隆英	中野市長
大町市地区	牛越 徹	大町市長
飯山市地区	江沢 岸生	飯山市長

■長野県支部評議員（任期：令和7年2月14日～令和10年2月13日）

選出区域	氏名	公職名等
茅野市地区	今井 敦	茅野市長
塩尻市地区	百瀬 敬	塩尻市長
佐久市地区	柳田 清二	佐久市長
千曲市地区	小川 修一	千曲市長
東御市地区	花岡 利夫	東御市長
安曇野市地区	中山 栄樹	安曇野市長
南佐久郡地区	黒澤 弘	小海町長
北佐久郡地区	土屋 三千夫	軽井沢町長
小県郡地区	北村 政夫	青木村長
諏訪郡地区	牛山 貴広	原村長
上伊那郡地区	白鳥 政徳	箕輪町長
下伊那郡地区	熊谷 秀樹	阿智村長
木曽郡地区	奥原 秀一	木祖村長

■長野県支部評議員（任期：令和7年2月14日～令和10年2月13日）

選出区域	氏名	公職名等
東筑摩郡地区	小林 弘幸	朝日村長
北安曇郡地区	矢口 稔	池田町長
埴科郡地区	山村 弘	坂城町長
上高井郡地区	藤沢 敏和	高山村長
北信地区	日臺 正博	木島平村長
上水内郡地区	土屋 龍彦	飯綱町長
支部長選出	三木 正夫	長野県社会福祉協議会長
支部長選出	松下 正樹	長野県経営者協会会長
支部長選出	小平 實	長野県民生委員児童委員協議会連合会長
支部長選出	根橋 美津人	日本労働組合総連合会長野県連合会長
支部長選出	岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー理事長
支部長選出	若林 安美	長野県商工会女性部連合会副会長
支部長選出	富田 章	長野県青少年赤十字指導者協議会長
支部長選出	岡田 敏子	赤十字奉仕団長野県支部委員会委員長

■ 本社理事・代議員（長野県支部選出）

職 名	氏 名	任 期	公職名等
理 事	浅井 隆彦	R07.04.01～R10.03.31	（一財）長野経済研究所理事長 長野県赤十字有功会長
代議員	金子 ゆかり	R07.06.18～R10.02.13	長野県市長会社会環境部会長 （諏訪市長）
	藤澤 泰彦	R07.06.18～R10.02.13	長野県町村会副会長 （生坂村長）
	浅井 隆彦	R07.02.14～R10.02.13	（一財）長野経済研究所理事長 長野県赤十字有功会長
	岡田 敏子	R07.02.14～R10.02.13	赤十字奉仕団長野県支部委員会委員長
	宮坂 佐和子	R07.02.14～R10.02.13	諏訪赤十字看護専門学校同窓会長
	柳沢 好哉	R07.02.14～R10.02.13	長野県青年赤十字奉仕団委員長

災害や紛争、貧困や感染症で
傷つき苦しんでいる人をなんとしても救いたい。
私たちを動かしているのは、
この強い思いなんだ。
あなたの想いを赤十字と一緒に、
救う力に変えませんか。

赤十字は、 動いている！

With You

 **SAVE365** Magazine
Japanese Red Cross Society



ご当地ハートラちゃん誕生！！
長野県は『登山ハートラちゃん』